参考資料2

旭川十勝道路（上富良野～中富良野）

第１回　説明資料

令和６年３月７日

国土交通省　北海道開発局

目　　次

１．計画段階評価の検討の流れ
２．地域の概況
３．地域の状況と課題
４．道路の状況と課題
５．課題の整理
６．意見聴取方法（案）

１．計画段階評価の検討の流れ

1-1） 計画段階評価手続きの進め方

〇地域住民や道路利用者の意見を聴きながら、道路計画〔概略ルート、構造等〕について検討を行う。
〇本委員会は地域・道路の現状と課題及び意見聴取方法について議論。

今　回

**北海道
地方小委員会**

【審議内容】
■地域・道路の
現状と課題

■意見聴取方法（案）

**意見聴取
（第1回）**

〇地域・道路の課題

◆意見聴取方法
〈ヒアリング〉
対象者
・沿線自治体等
・関係団体
〈アンケート〉
対象者
・地域住民
・道路利用者
・観光客

北海道地方小委員会

■政策目標の設定　等

■評価項目の設定　等

■比較ルート案（複数案）等

■対応方針（案）
（概略ルート、構造等）　等

意見聴取

対応方針の決定（概略ルート・構造等）

北海道地方小委員会

※各段階で随時自治体と調整

1-2）北海道の高規格道路網

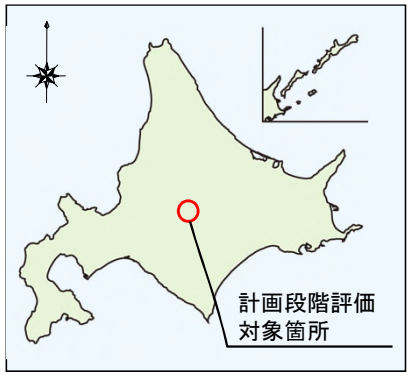
○旭川十勝道路は、旭川市を起点として富良野市等を経由し、占冠村へ至る高規格道路。
○評価対象区間は、上富良野町から中富良野町へ至る旭川十勝道路の一部区間。



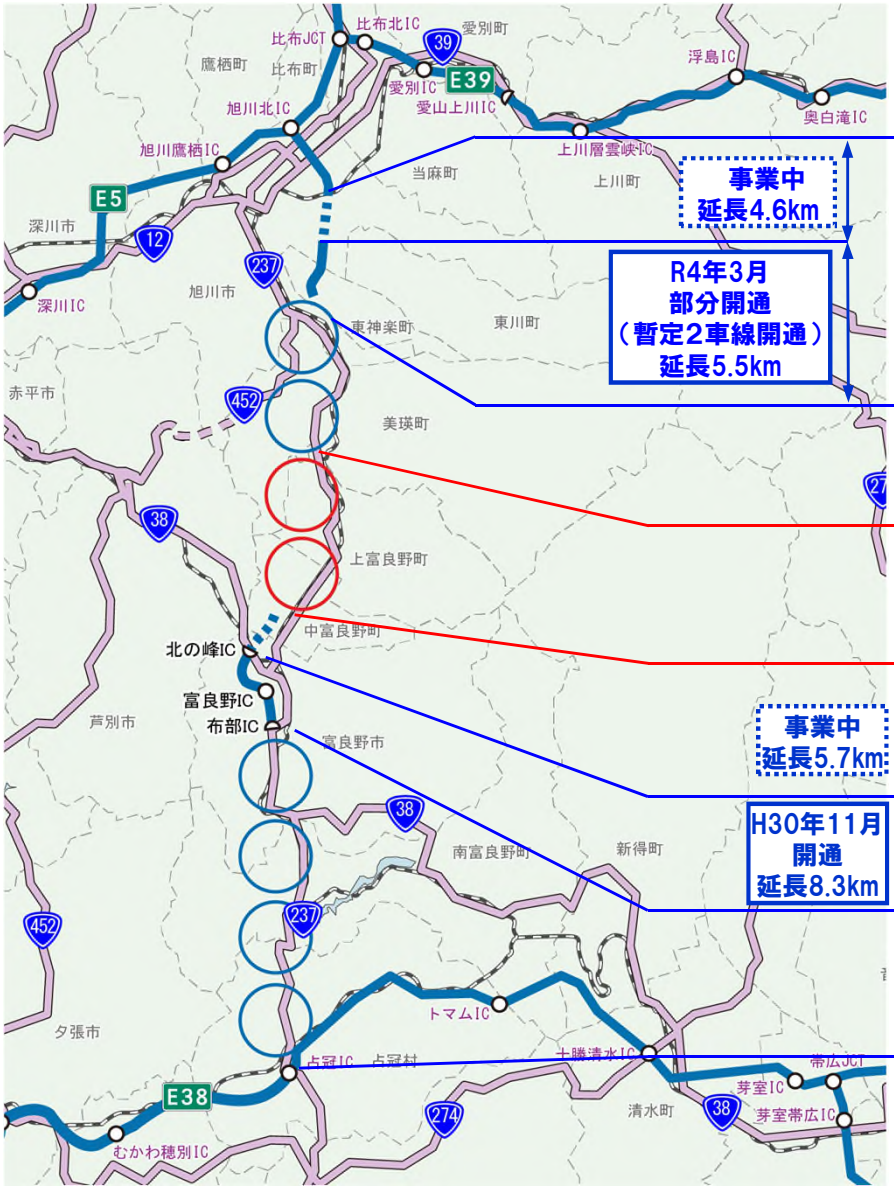
1-3）旭川十勝道路の進捗

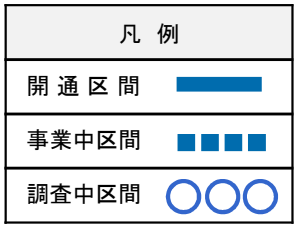
〇旭川十勝道路は、旭川東神楽道路の一部、富良野道路が令和3年度までに開通済み。
〇旭川東神楽道路の4車線化及び富良野北道路が事業中。
〇当該区間は、事業中の富良野北道路に接続する延長約16kmの区間。

▼位置図



自治体名	人口（人）	面積（km²）
上富良野町	10,348	237.10
中富良野町	4,733	108.65
富良野市	21,131	600.71
美瑛町	9,668	676.78
東神楽町	10,127	68.50
南富良野町	2,376	665.54
占冠村	1,306	571.41
旭川市	329,306	747.66





事業中
延長4.6km

R4年3月
部分開通
（暫定2車線開通）
延長5.5km

旭川東神楽道路
（事業主体：北海道）

東神楽～美瑛町

計画段階評価対象区間
上富良野～中富良野
約16km

事業中
延長5.7km

富良野北道路

H30年11月
開通
延長8.3km

富良野道路

富良野～占冠

資料　人口：令和2年国勢調査（総務省）
面積：令和5年全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）

２．地域の概況

2-1） 地域の概況（土地利用）

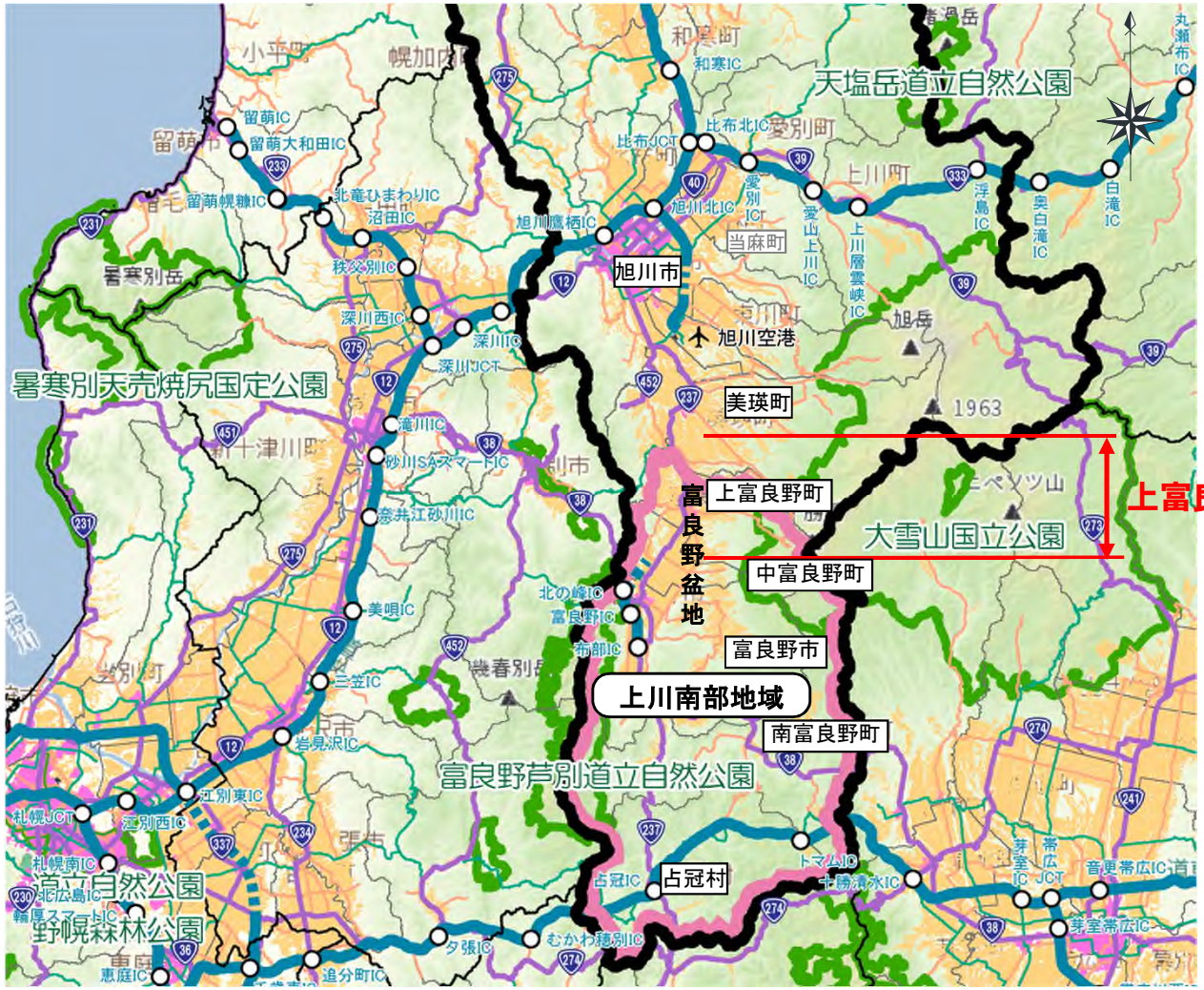
国土交通省

〇上川地域は、北海道の中央部に位置し、多くの国立公園や道立公園を有する自然豊かな地域。
〇そのうち、上富良野町から中富良野町の国道237号沿線は農用地が分布。

▼上川地域の構成



※1 上川地域は以下の市町村より構成すると定義
上川北部（士別市・名寄市・剣淵町・下川町・美深町
音威子府村・中川町・幌加内町・和寒町）
上川中部（旭川市・鷹栖町・東神楽町・当麻町
比布町・愛別町・上川町・東川町・美瑛町）
上川南部（富良野市・上富良野町・中富良野町
南富良野町・占冠村）

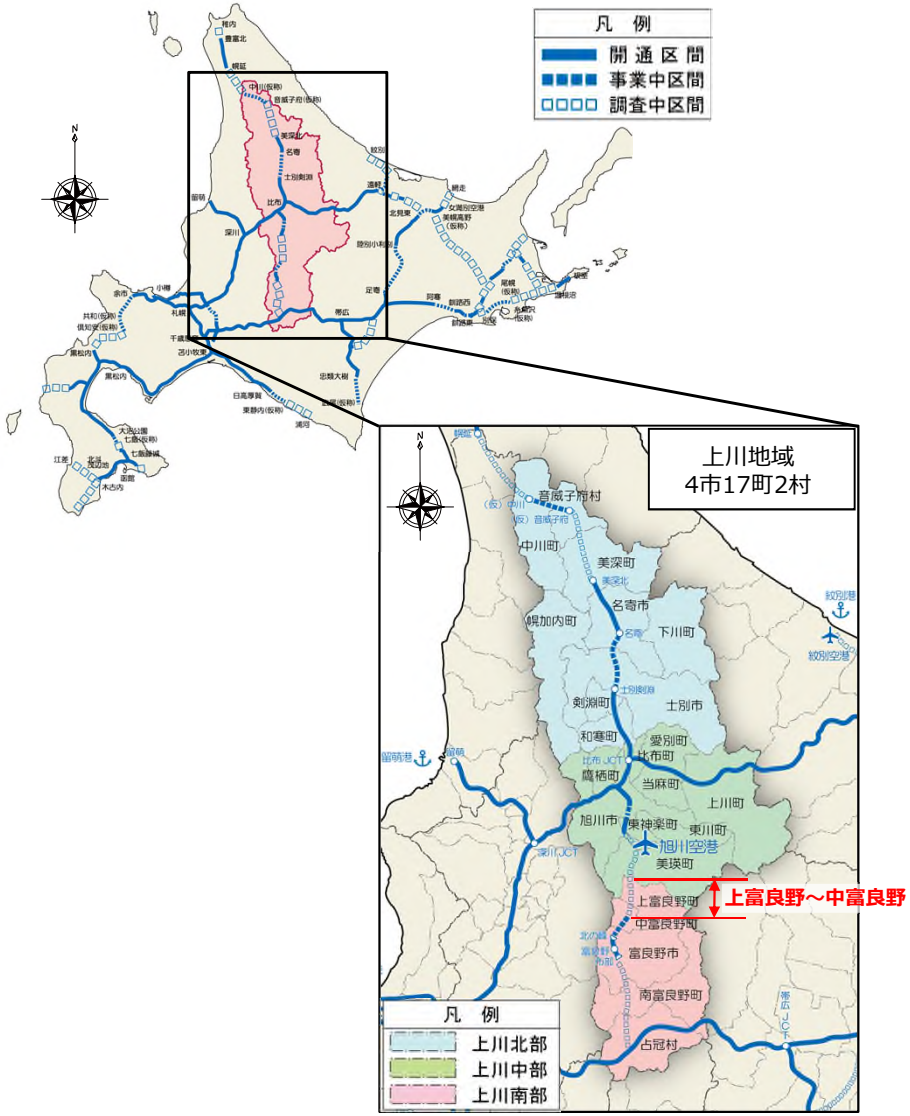


注：「市街地」は都市計画決定された工業専用地域を除く用途地域、「農用地」は湿田・乾田・沼田・蓮田及び田、麦・陸稲・野菜・草地・芝地・りんご、梨・桃・ブドウ・茶・桐・はぜ・こうぞ・しゅろ等を栽培する土地、「山地」は山地・丘陵または台地の緑などの傾斜地（国土交通省国土地理院地形分類より参照）
資料：「市街地」は「国土交通省国土政策局の国土数値情報（用途地域データ令和元年度）」をもとに加工　https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-A29-v2_1.html
「農用地」は「国土交通省国土政策局の国土数値情報（土地利用細分メッシュデータ平成28年度）」をもとに編集・加工　https://nlftp.mlit.go.jp/ksj/gml/datalist/KsjTmplt-L03-b.html

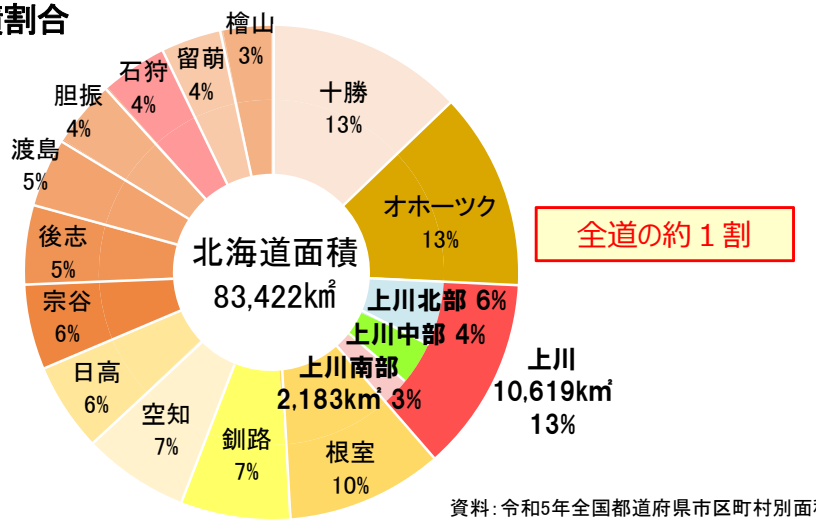
2-2） 地域の概況（面積）

○上川地域（上川北部、上川中部、上川南部）は、4市17町2村で構成され、特定地方管理空港である旭川空港を有する。
○上川地域の総面積は10,619㎢で全道の13%を占め、そのうち当該区間が所在する上川南部地域は2,183㎢で全道の3%を占め、東京都と同程度の面積である。

▼高規格道路網図と上川地域市町村図

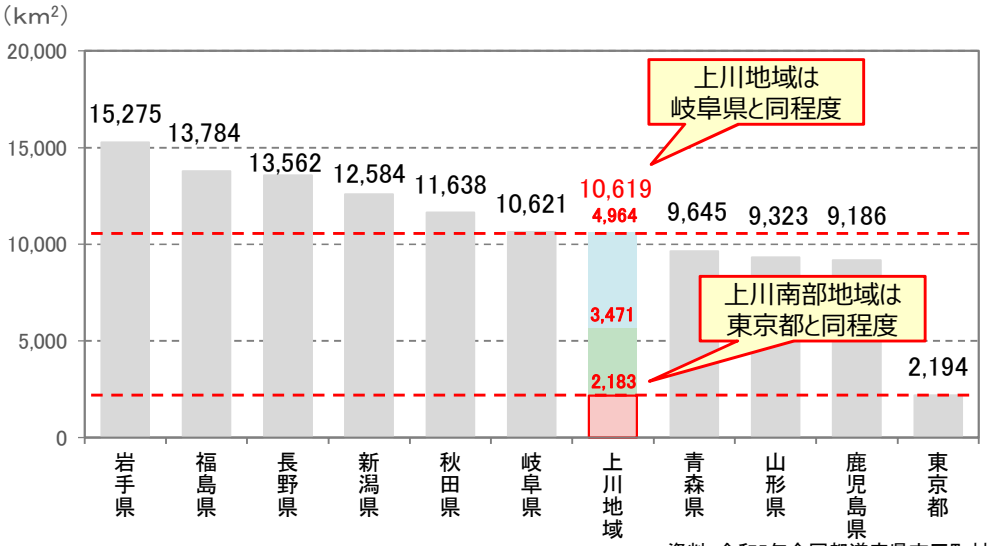


▼振興局別面積割合



資料：令和5年全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）

▼上川地域と他県の面積との比較

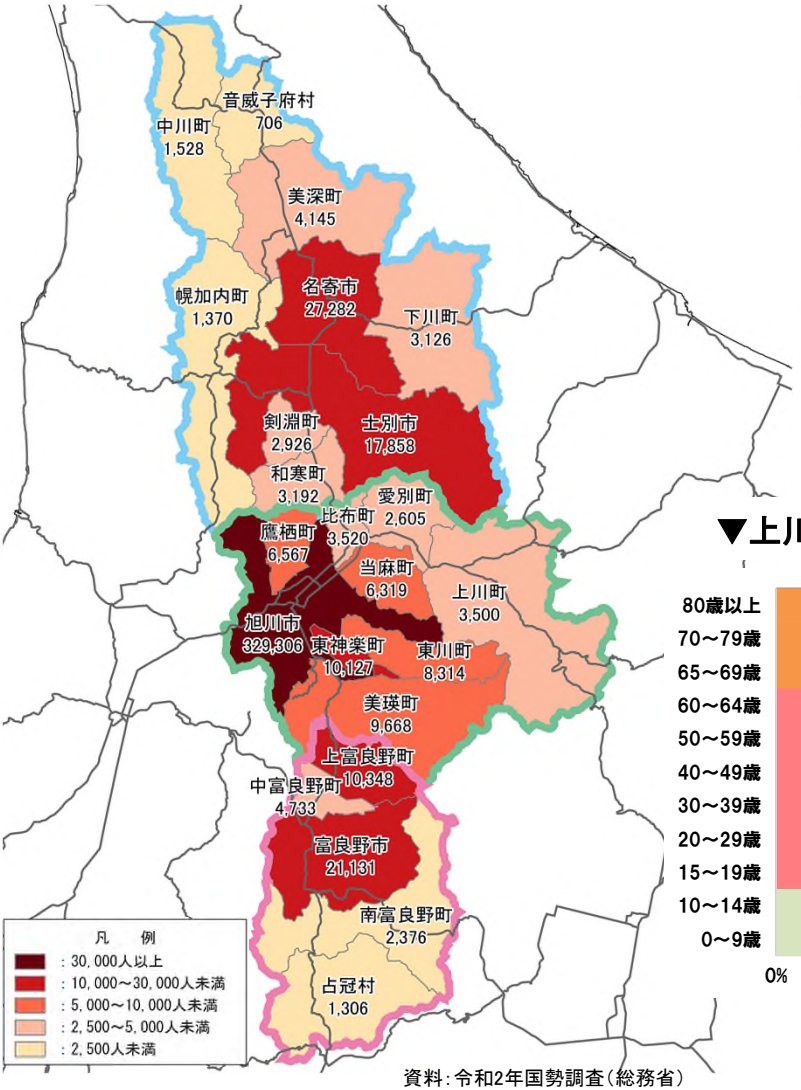


資料：令和5年全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院）

2-3） 地域の概況（人口）

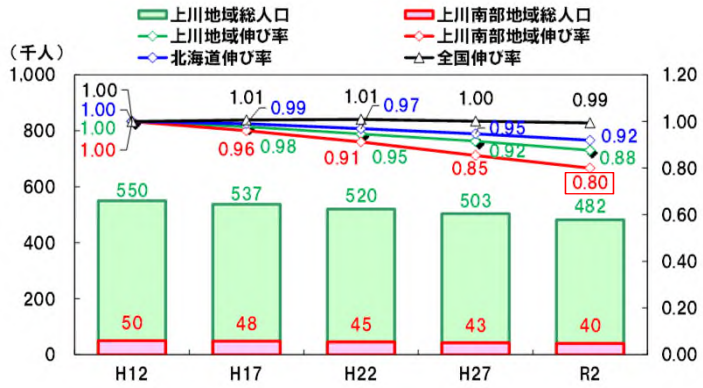
○上川地域の総人口は約48万人で、そのうち旭川市が約33万人と人口が集中しており、上川南部地域は約4万人。
○上川地域は、全国や全道と比較すると、人口減少・高齢化が先行しており、その中でも上川南部地域の人口減少は上川地域を上回るスピードで進行。
○上川地域と上川南部地域の年齢別人口構成は、全国平均より高齢者（65歳以上）人口割合が多く、特に40代以下の人口割合が低い状況。

▼上川地域の市町村人口



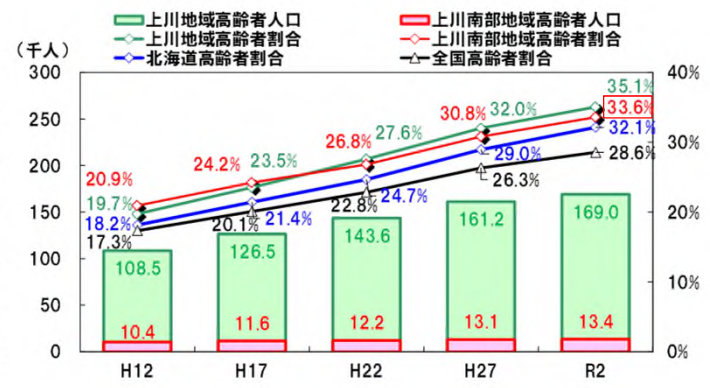
資料：令和2年国勢調査（総務省）

▼総人口の推移



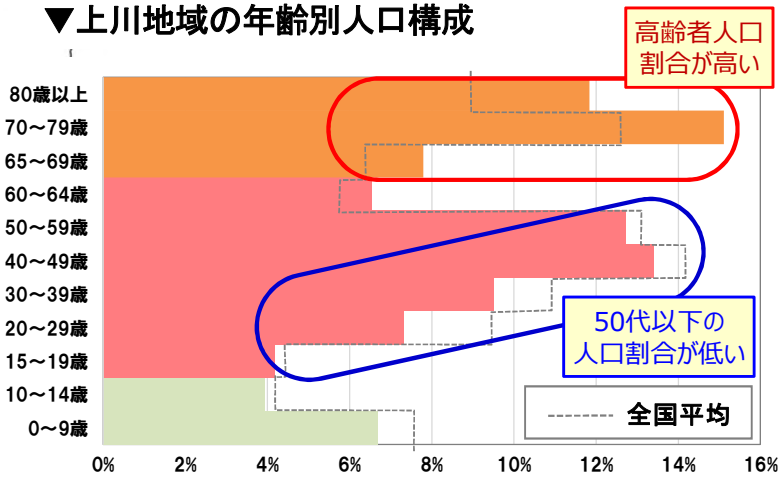
資料：国勢調査（総務省）

▼高齢者（65歳以上）人口の推移



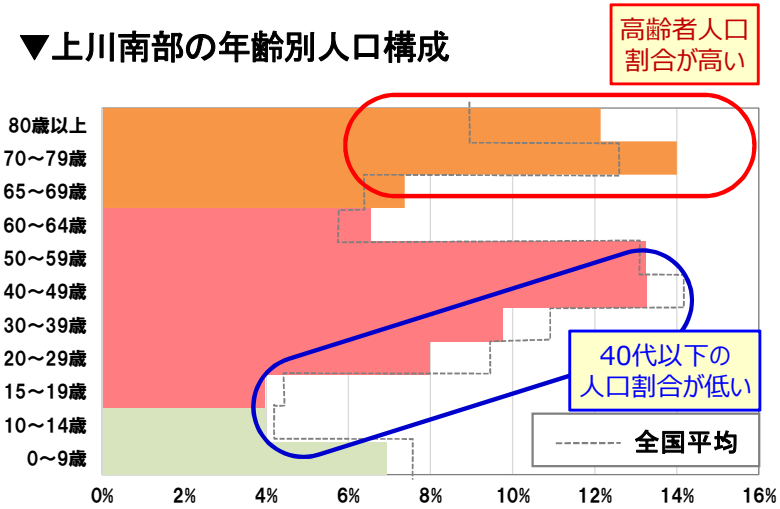
資料：国勢調査（総務省）

▼上川地域の年齢別人口構成



資料：令和2年国勢調査（総務省）

▼上川南部の年齢別人口構成

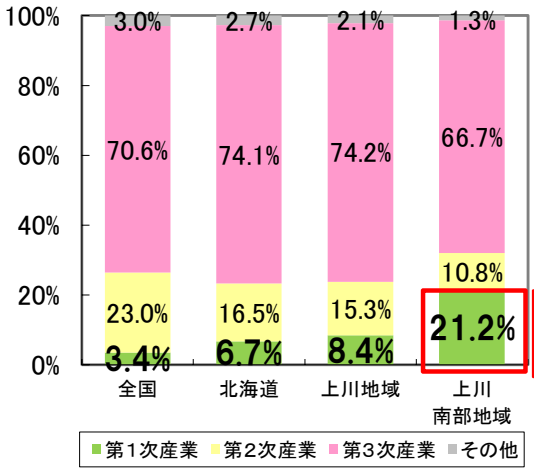


資料：令和2年国勢調査（総務省）

2-4） 地域の概況（産業）

○上川南部地域の産業は、全国、北海道や上川地域と比べて第１次産業の割合が高く、産業別就業者数の特化の度合では、北海道平均と比べて上川地域は農業や林業が高く、上川南部地域は農業・林業・鉱業が高い。
○上川地域の農業産出額は、日本の食料基地である北海道の約１割を占める。

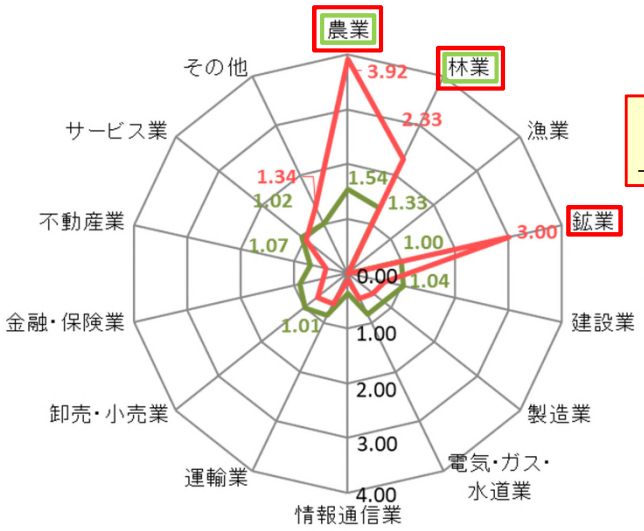
▼上川南部地域の就業者数割合



第1次産業の割合が高い
全国の約6倍

資料：令和2年国勢調査（総務省）

▼上川地域・上川南部地域の産業別就業者数の特化係数



上川地域は農業・林業に特化
上川南部地域は農業・林業・鉱業に特化

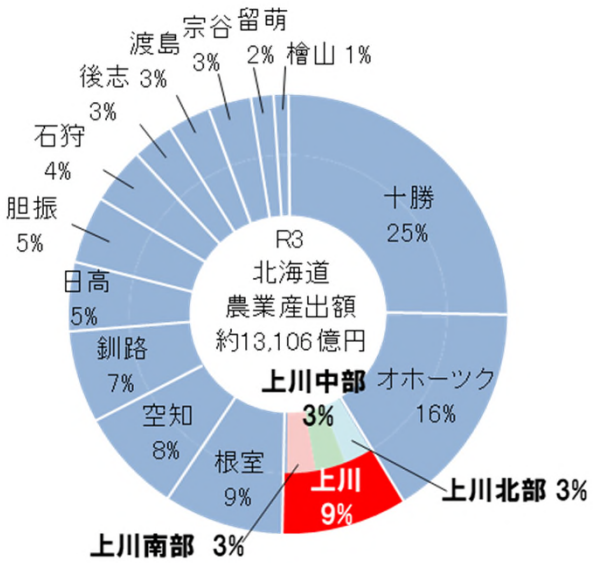
【特化係数】
・地域の産業がどれだけ特化しているかを表現する係数で次式で定義される。

$$特化係数 = \frac{対象地域のA業種の全業種に占める構成比}{全体におけるA業種の全業種に占める構成比}$$

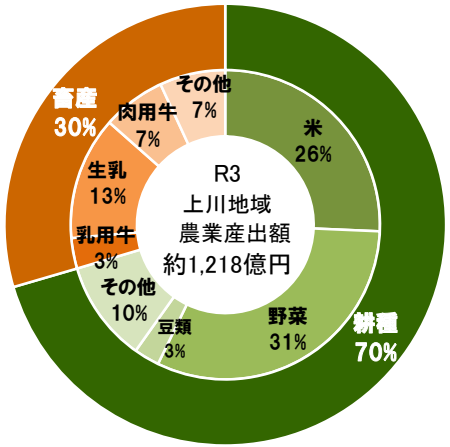
※ここでは全体を北海道とし、各業種の就業人口を用いて比較検討を行っている。

資料：令和2年国勢調査（総務省）

▼北海道の農業産出額割合

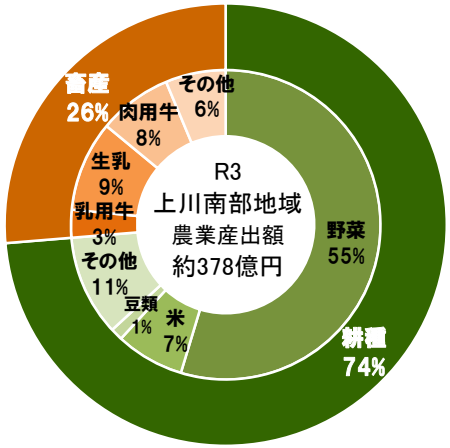


▼上川地域の農業産出額内訳



資料：令和3年市町村別農業産出額（農林水産省）

▼上川南部の農業産出額内訳

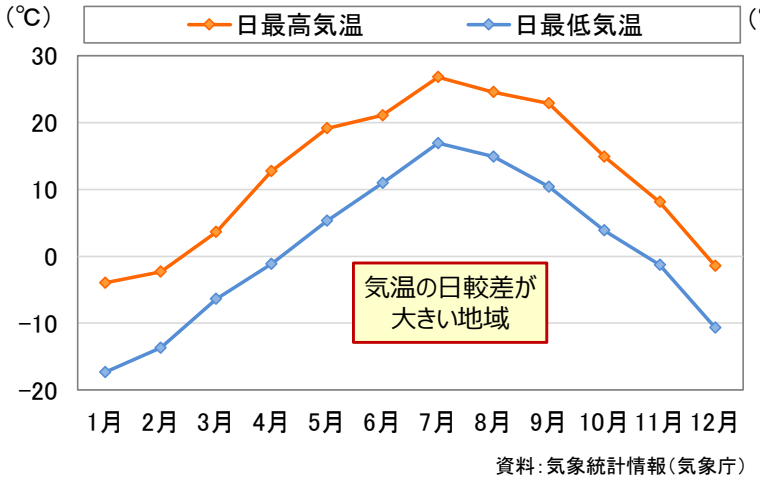


※1 上川南部（富良野市・上富良野町・中富良野町・南富良野町・占冠村）

2-5） 地域の概況（気象）

○上川南部地域は、周囲を山地または丘陵によって囲まれた平坦な地形（盆地）のため、気温の日較差が大きく、道内で3番目に冬期（12～2月）の平均気温が低く、平均気温が－5℃を下回るなど寒さの厳しい地域。
○年間降雪量は、札幌や旭川と比較して年ごとのばらつきが少なく、年間降水量も約1,100mm程度で推移している。

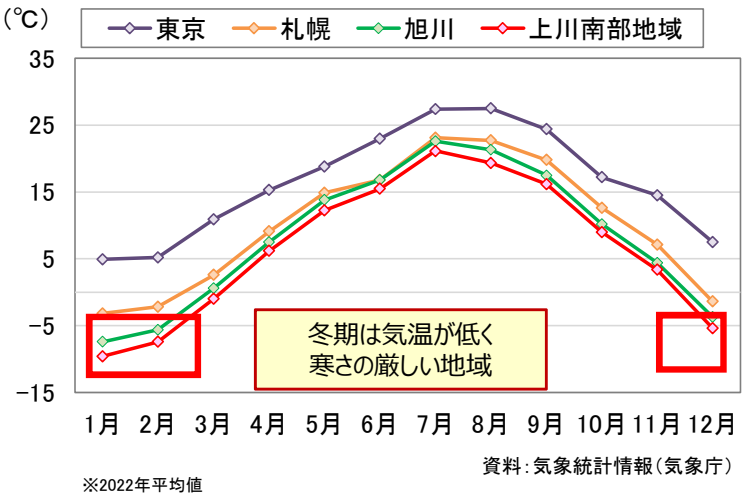
▼月別日最高気温・最低気温（上川南部地域）



資料：気象統計情報（気象庁）

※2022年平均値
※上川南部地域：富良野・幾寅・占冠の観測地点の平均値

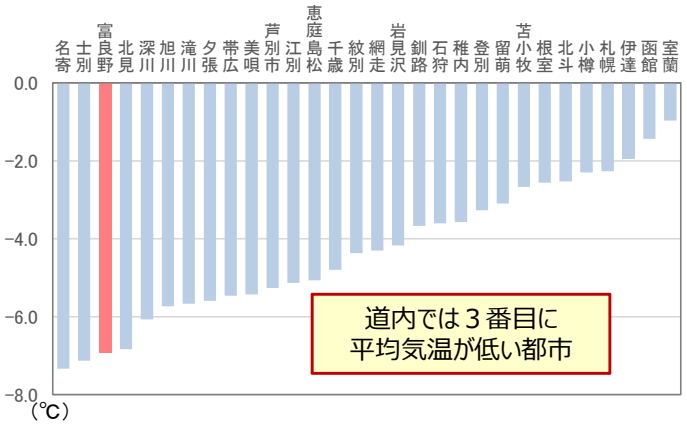
▼月別平均気温都市別比較



資料：気象統計情報（気象庁）

※2022年平均値
※上川南部地域：富良野・幾寅・占冠の観測地点の平均値

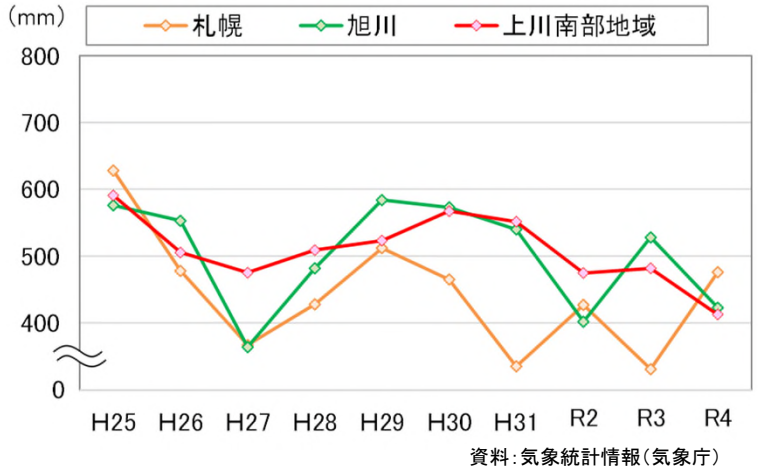
▼道内各市の12～2月平均気温（平年値）



資料：気象統計情報（気象庁）

※1991～2020年平均値
※江別：2000～2020年、千歳：2003～2020年、 伊達：2008～2020年平均値

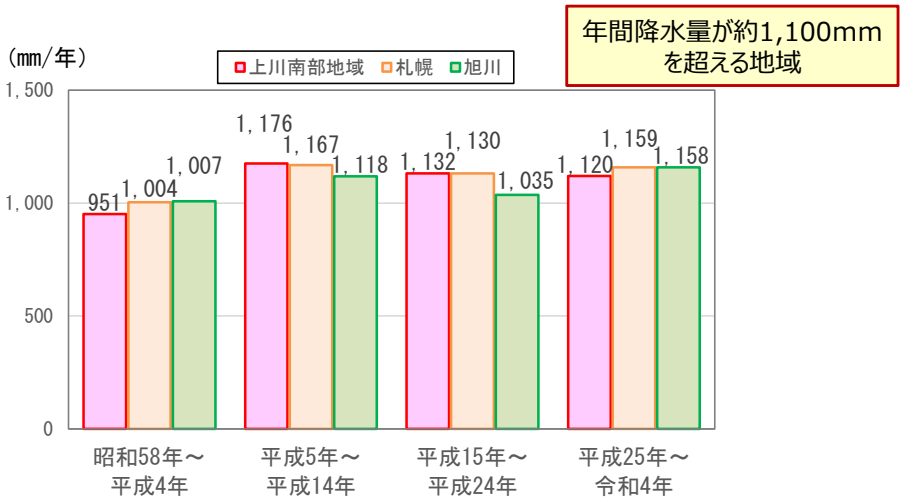
▼年別降雪量都市別比較



資料：気象統計情報（気象庁）

※上川南部地域：富良野・幾寅・占冠の観測地点の平均値

▼年降水量・10年平均比較（上川南部地域）



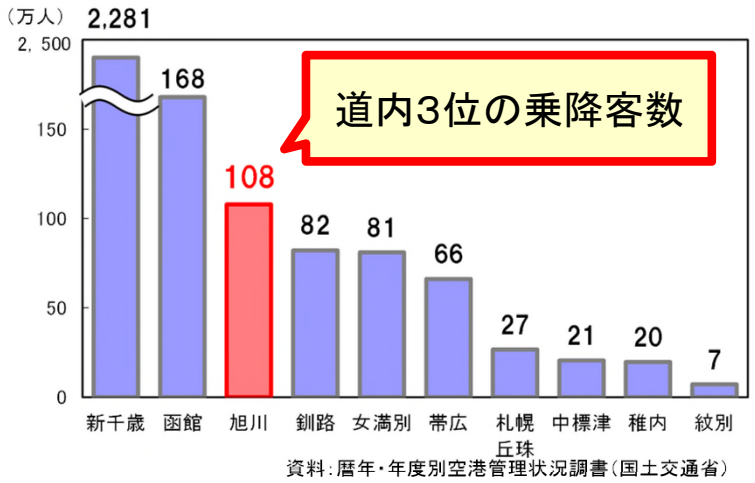
※上川南部地域：富良野・幾寅・占冠の観測地点の平均値

資料：気象統計情報（気象庁）

2-7） 地域の概況（旭川空港）

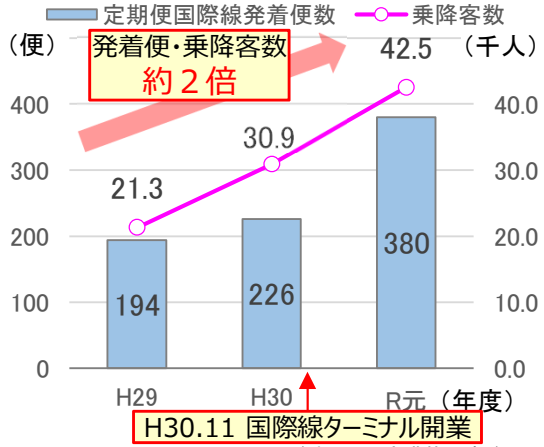
○国道237号沿線に立地する旭川空港は道内3位の乗降客数を誇り、平成30年11月には新たに国際線ターミナルが開業し、国際線利用者や定期便国際線発着便数は増加傾向。
○旭川空港を利用する流動は旭川市が最も多く、次いで富良野市への流動が多い。
○道内7空港民営化に伴い、北海道エアポートグループによる旭川空港の運営事業が令和2年10月より開始され、国内線の新規1路線が就航するなど計画が進められている。

▼道内の空港別乗降客数（R元年度）



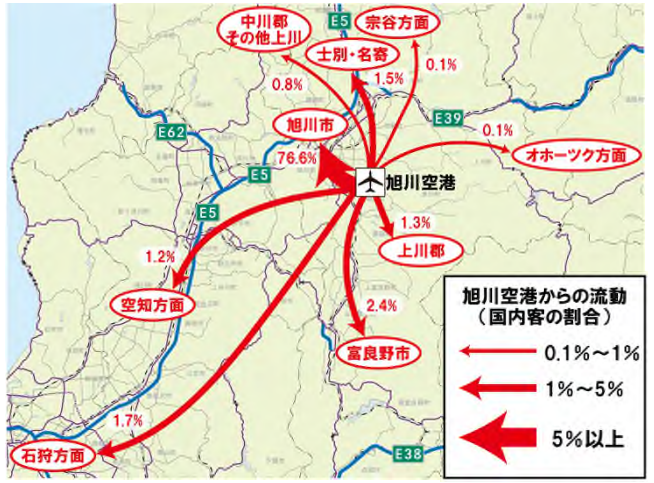
資料：暦年・年度別空港管理状況調書（国土交通省）

▼旭川空港の定期便国際線発着便数及び乗降客数の推移



資料：旭川空港管理事務所
※コロナの影響で、R2～R4は国際線発着便数及び乗降客数ともに０

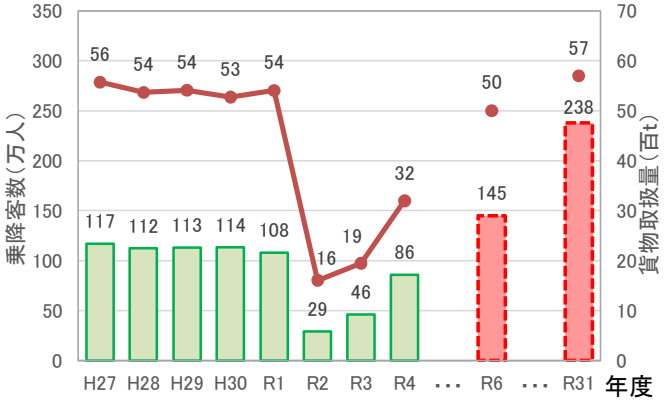
▼旭川空港乗降客の流動



資料：令和元年度　航空旅客動態調査（国土交通省）

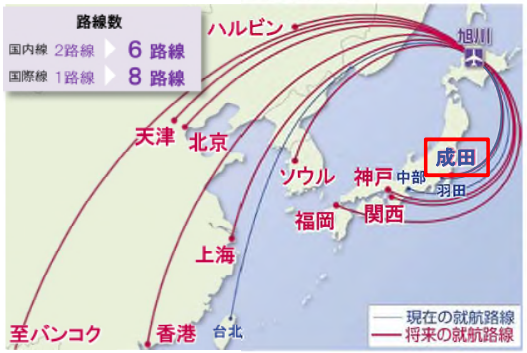
▼北海道エアポートグループの提案概要と目標（旭川空港）

【乗降客数と貨物取扱量】



※R1、R2、R3年度は新型コロナウイルスの影響を加味
※R6、R31は、北海道エアポートグループの提案概要より記載
資料：暦年・年度別空港管理状況調書（国土交通省）

【就航路線数】



成田/旭川線：R5.12.15～就航

取組	主な内容
航空ネットワークの充実	・新千歳空港に次ぐ基幹的空港、広域ゲートウェイとしての役割 ・東アジアや西日本方面など**航空ネットワークを大幅に拡充** **・成田路線誘致による首都圏や海外からの誘客増** ・札幌圏への近接性を活かした新千歳空港の需要取込み
世界屈指の山岳・スノーリゾートとしての魅力向上	・自治体、DMO、アウトドア事業者等と協同したアウトドアブランディング・受け入れ環境整備に　よる地域ブランドの確立 ・空港起点の**体験型観光商品の企画・販売促進**や**体験型観光ルート形成** ・空港別協議会を活用した地域・関係者の一体的な取組み
設備投資戦略（約218億円）	・カーブサイド改良による二次アクセスの利便性向上 ・将来的な**国際線就航需要に対応する段階的な施設拡張（駐車場増設）**、国内線保安検査場の拡大、エプロン・PBB増設 ・ターミナル前面に約3,000㎡の大規模増築を行い、**交通拠点機能**やアクティビティセンター、　地域交流拠点などを整備することで、**一般空港利用者70万人／年を集客**

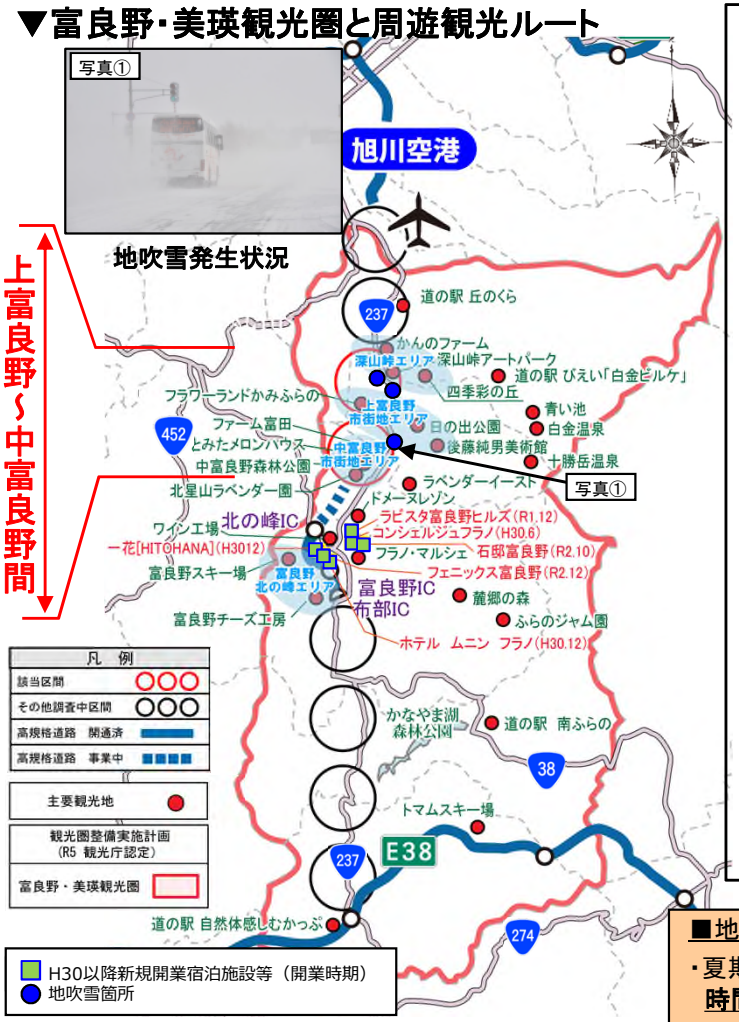
資料：国土交通省令和元年8月9日報道発表資料、暦年年度別空港管理状況調書（国土交通省）を基に作成

３．地域の状況と課題

3-1） 地域の状況と課題（観光）

○富良野･美瑛観光圏は、年間約800万人（令和元年度）が訪れる観光地域で、平成30年以降6件の宿泊施設が新規開業するなど地域への投資も進んでいる状況。
○一方で、花畑観光時期（7～8月）には、国道237号中富良野交差点で最大2kmを超える渋滞が発生し、観光地間の移動に時間がかかることや、地吹雪による視程障害といった冬期の走りづらさなど、周遊観光における速達性、定時性及び安定性が課題。

▼富良野･美瑛観光圏と周遊観光ルート



資料：ふらのまっぷ（ふらの観光協会）



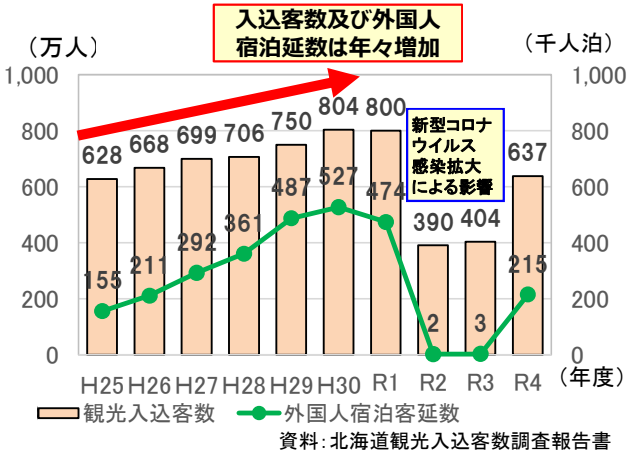






資料：旭川開発建設部

▼富良野･美瑛観光圏の観光入込客数推移



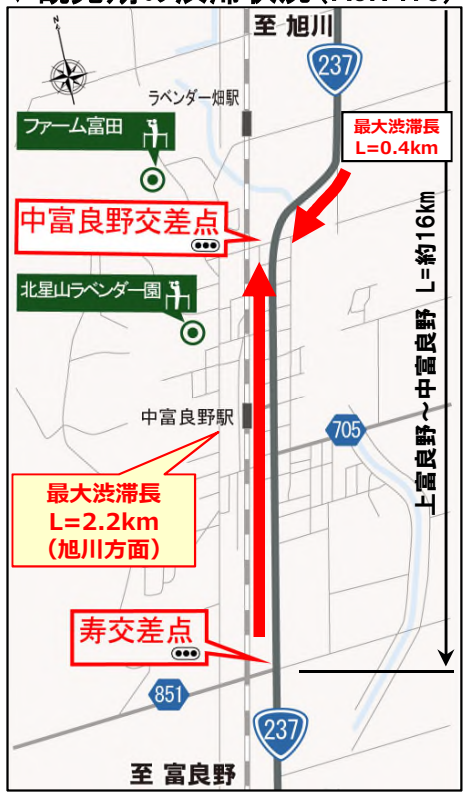
資料：北海道観光入込客数調査報告書

▼観光期の現道の渋滞状況



中富良野交差点の渋滞状況（R5.7.16）

▼観光期の渋滞状況（R5.7.16）



資料：旭川開発建設部（R5.7.16（日）渋滞長調査結果）
※渋滞長は渋滞長調査時の最大値（10時台～16時台）

■地域の声＜バス会社職員＞

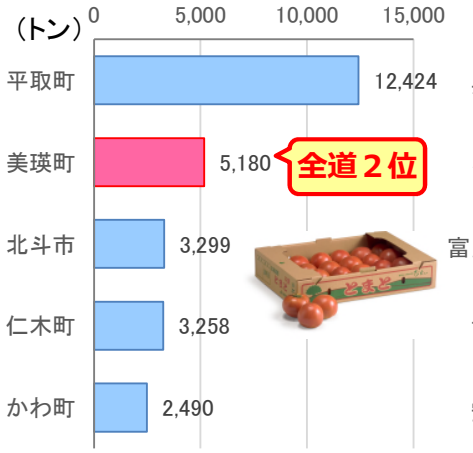
・夏期観光期(特に休日)の国道237号の交通渋滞が激しいため、**目的地への移動に時間がかかり、周遊観光コースの立ち寄り箇所数、滞在時間等に制約が生じており、観光地間を効率的に移動できないことが課題。**主要観光地へのアクセスや周遊観光の定時性の向上が必要。

・**冬期は、地吹雪による視界不良や深山峠の連続カーブ区間で事故が多く発生**しているため、**連続カーブを解消し吹雪時にも安全に走行できる事に期待。**

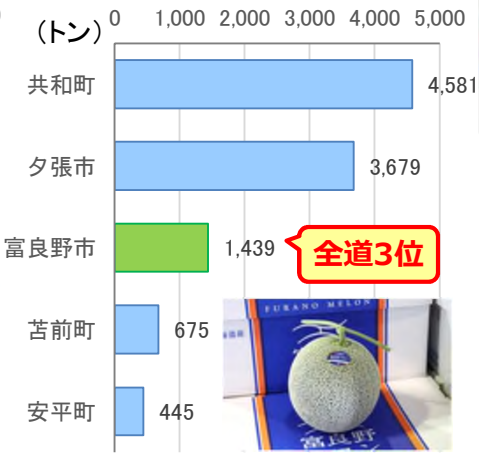
3-2） 地域の状況と課題（物流）

○美瑛町のトマトや富良野市のメロンは全道有数の出荷量を誇り、高品質な「美瑛トマト」「富良野メロン」ブランドとして各集出荷場等から当該区間を経由し、旭川市等の道内市場や苫小牧港から道外に出荷。
○特にトマトやメロンの出荷ピーク時（7～8月）と、富良野・美瑛地区の花畑観光時期が重複するため、中富良野市街部の交通渋滞等の影響を受けやすく、輸送の定時性、速達性及び安定性の低下が課題。
○市街地や郊外地において貨物車事故が発生しており、輸送の安全性が課題。

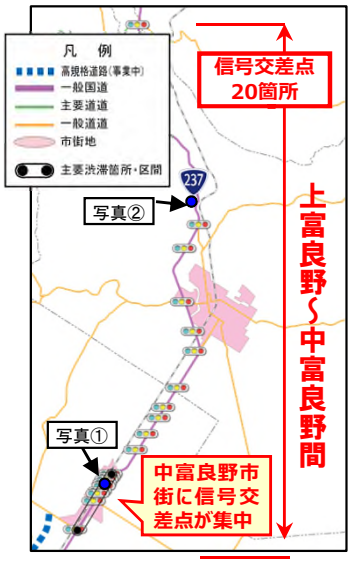
▼トマトの全道収穫量（R3年）



▼メロンの全道収穫量（R3年）



資料：北海道野菜地図（R5.2版発行：北海道農業協同組合中央会、ホクレン農業協同組合連合会）

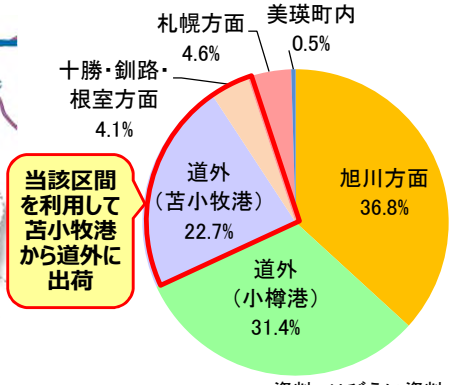


▼ 当該区間を利用するメロン、トマトの主な出荷ルート



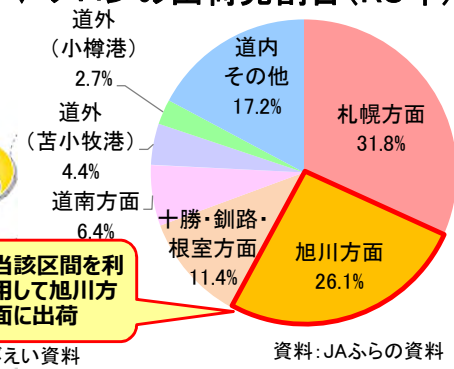
資料：JAふらの、JAびえい資料

▼ トマトの出荷先割合（R3年）



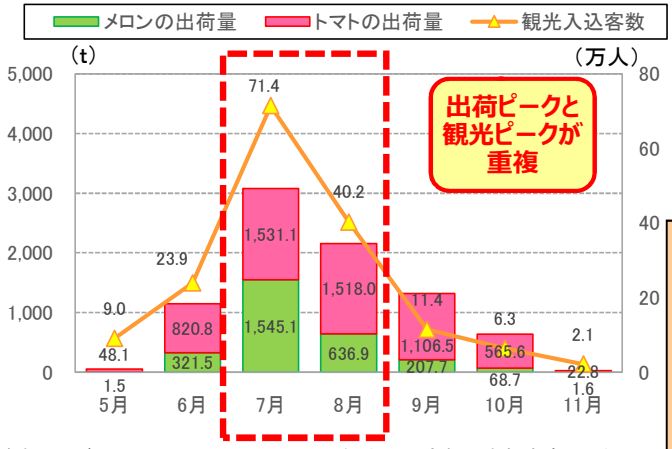
資料：JAびえい資料

▼ メロンの出荷先割合（R3年）



資料：JAふらの資料

トマト・メロンの月別出荷量（R1年）と上富良野町及び中富良野町の月別観光入込客数（R1年）



資料：JAびえい（R1）、JAふらの（R1）、観光入込客数調査報告書（R1年）

▼渋滞に巻き込まれる物流車両（H25.7.21）



▼貨物車事故（正面衝突）（H30.2.27）



資料：旭川開発建設部

■地域の声＜物流事業者＞
・観光シーズンは、国道237号で美瑛町から富良野市まで混雑が発生します。特に中富良野町のラベンダー畑周辺につながる箇所で混雑が著しく、**交通渋滞の影響で農産物輸送の定時性の確保に苦労**しています。
・交差点での右左折や加減速、**停止・発進など走行中の車両に加わる振動や衝撃は荷傷みの原因**になります。輸送中の**荷傷みによる青果物の商品価値の低下**等の損失は、運送会社の負担となることが多いため、**揺れや振動を極力与えないよう注意して走行**しています。また、国道237号は、**市街地や郊外地で、事故が多く発生しているので、安全性に課題があると感じている。**

3-3） 地域の状況と課題（医療）

○上川南部地域の医療を担っている第2次救急医療施設である富良野協会病院は、脳疾患及び心疾患については月2、3回の出張医による診療であるため、旭川市の第3次救急医療施設へ脳疾患、心疾患患者を含め年間260件程度が転院搬送されている。
○搬送経路の国道237号は、花畑観光時期（7～8月）の交通渋滞、地吹雪による視程障害といった冬期の走りづらさなど、救急搬送における速達性及び安定性の低下が課題。

▼旭川市及び上川南部地域における診療科目の状況

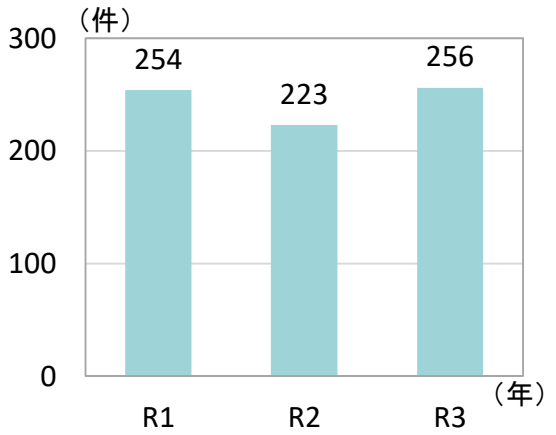
富良野市の脳神経外科及び心臓血管外科は出張医による診療体制

診療科目	旭川市	富良野市	上富良野町	中富良野町	南富良野町	占冠村
脳神経外科	8	2※	0	0	0	0
心臓血管外科	2	1※	0	0	0	0
循環器内科	29	2	2	0	0	0
産婦人科	5	1	0	0	0	0
第二次救急医療施設	19	1	1	0	0	0
第三次救急医療施設	2	0	0	0	0	0

重篤な症状に対応できる病院は旭川市へ集中

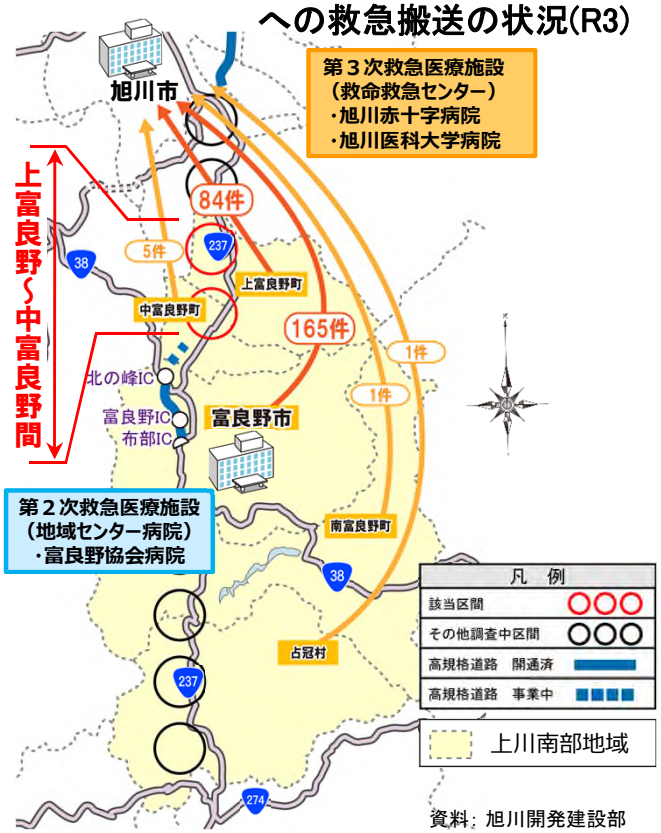
資料：北海道救急医療・広域災害情報システム（R5.4.14現在）
※富良野市の脳神経外科、心臓血管外科は旭川医科大学出張医による診療
（脳神経外科 月2回、心臓血管外科 月3回）

▼当該区間を利用した上川南部地域から旭川市への救急搬送件数の推移



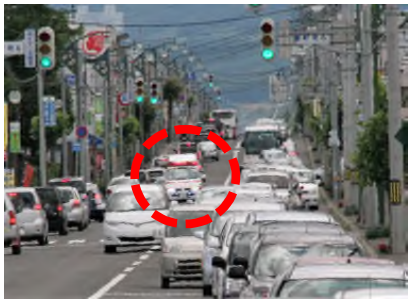
資料：富良野消防署ヒアリング ※ドクターヘリに関連した搬送を除く

▼当該区間を利用した各市町村から旭川市への救急搬送の状況(R3)



資料：旭川開発建設部

▼渋滞に巻き込まれる救急車両（H24.7.14）

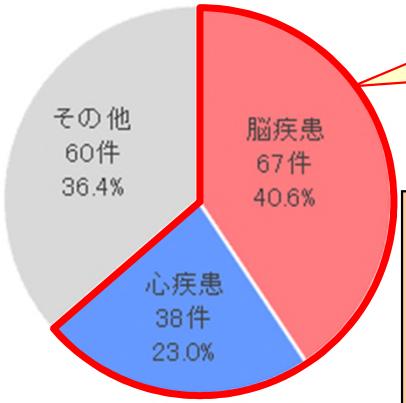


▼冬期の救急搬送の状況（地吹雪）（H29.1.28）



資料：旭川開発建設部

▼富良野市内の病院から旭川市内病院への転院搬送状況



6割以上が脳疾患・心疾患患者

資料：富良野消防署ヒアリング（R3）

■地域の声（富良野広域連合消防本部）
・国道237号は片側1車線区間が多く、市街地での交通渋滞発生時には、対向車も多く、追い越しに時間がかかっており、また**冬期は郊外部で地吹雪が発生し、視界不良による走りづらさから搬送時間が増えている状況**にあります。
・搬送中の患者の負担を少しでも減らすために**救急搬送の速達性の低下**が課題。

3-4） 地域の状況と課題（災害）

○活火山である十勝岳は、約30年周期で噴火を繰り返している状況の中、前回の昭和63年の噴火から35年が経過しており、噴火の発生が切迫。
○国道237号 上富良野から中富良野間の一部は「融雪型火山泥流予定到達範囲」となっており、災害時に通行止めとなることが想定されるため、救援・救助、復旧活動を支援するための道路機能の確保が必要。

▼十勝岳の主な噴火災害と噴火周期

1857年（安政4年）

↓ 30年経過

1887年（明治20年）

火砕物降下、近傍に降灰

↓ 39年経過

1926年（大正15年）

泥流により死者・行方不明144名、負傷者約200名、建物372棟が被害

↓ 36年経過

1962年（昭和37年）

死者5名、負傷者11名

↓ 26年経過

1988年（昭和63年）

火砕サージ、小規模泥流、約150kmまで降灰、当該区間が7日間通行止め

↓

前回噴火から35年経過



1926年（大正15年）の泥流被害

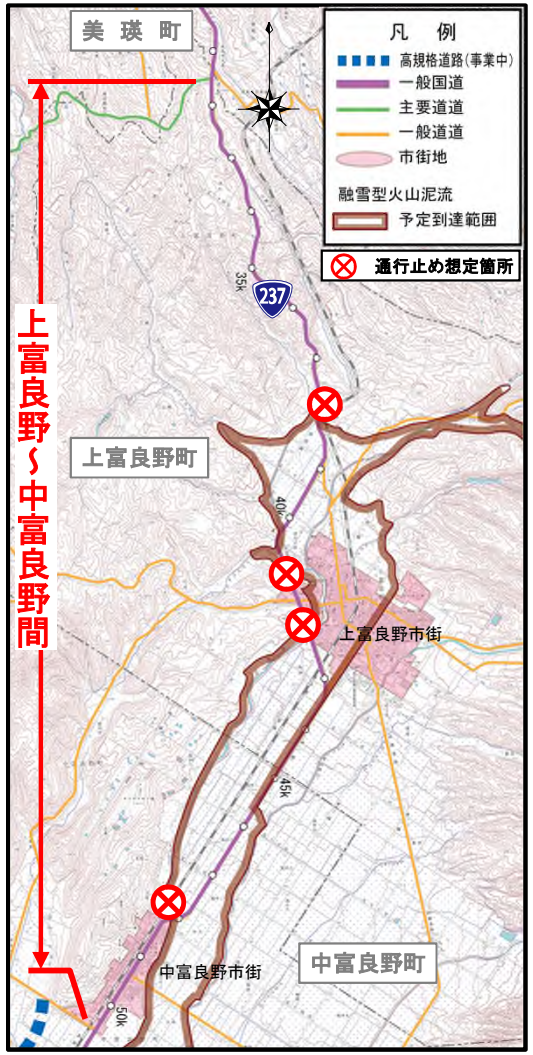


1962年（昭和37年）の噴火状況



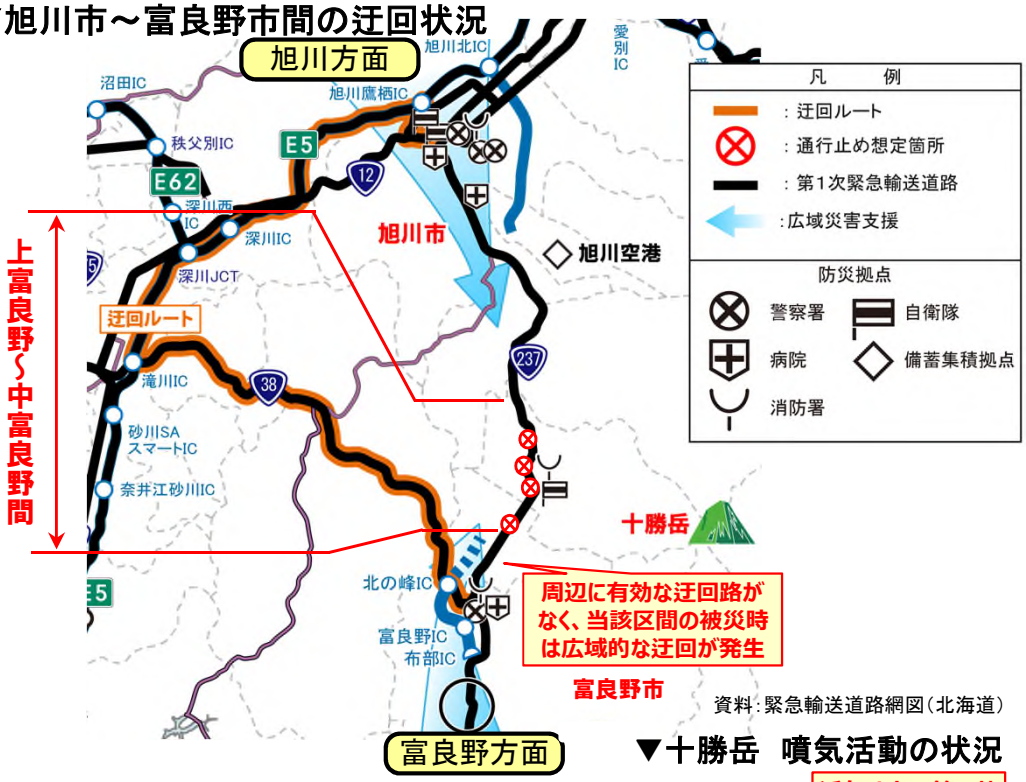
1988年（昭和63年）の噴火状況

資料：気象庁/十勝岳　有史以降の火山活動、美瑛町



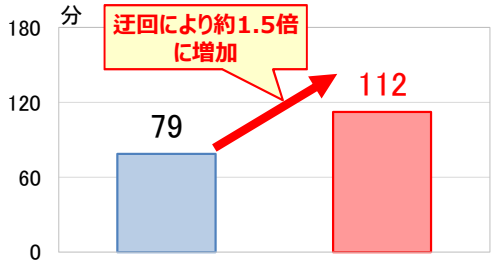
資料：1926十勝岳噴火報告書（内閣府）、上富良野町ハザードマップ

▼旭川市～富良野市間の迂回状況



資料：緊急輸送道路網図（北海道）

▼旭川市～富良野市間の迂回時間



資料：R3年度全国道路・街路交通情勢調査

▼十勝岳　噴気活動の状況

近年は火口等で熱活動が活発な状態



（令和4年9月振子沢噴気孔群の状況）

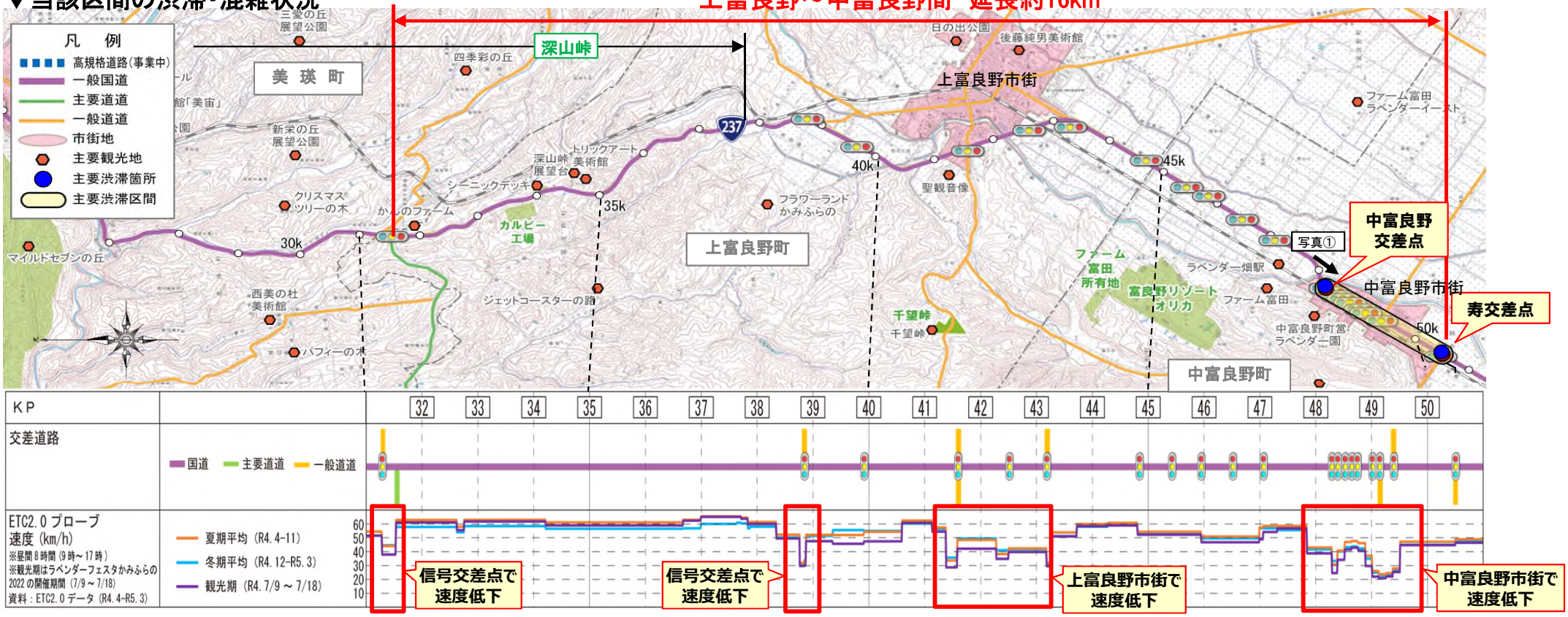
資料：札幌管区気象台「十勝岳の火山活動解説資料（令和5年8月）」

４．道路の状況と課題

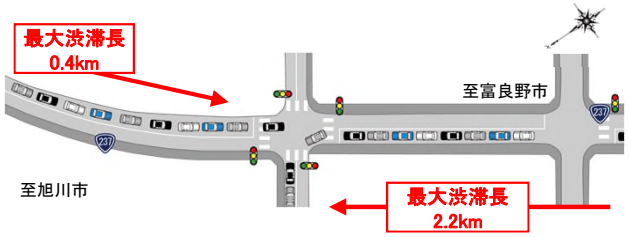
4-1） 道路の状況と課題（渋滞・混雑）

○上富良野市街地や中富良野市街の信号交差点において、速度低下が発生。
○特に、花畑観光時期には、中富良野市街地においては、旭川方面へ向かう車線で最大2kmを超える渋滞が発生しており、中富良野交差点の平均旅行速度は、夏期平均（4～11月）に比べ約20km／h低下。

▼当該区間の渋滞・混雑状況



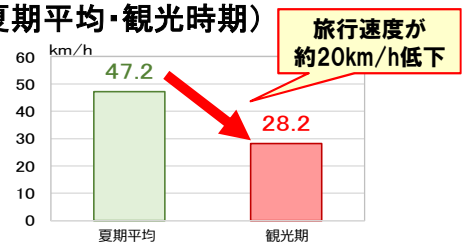
▼中富良野交差点の最大渋滞長の発生状況(R5.7.16)





中富良野交差点の渋滞状況（R5.7.16）

▼中富良野交差点の平均旅行速度の比較（夏期平均・観光時期）



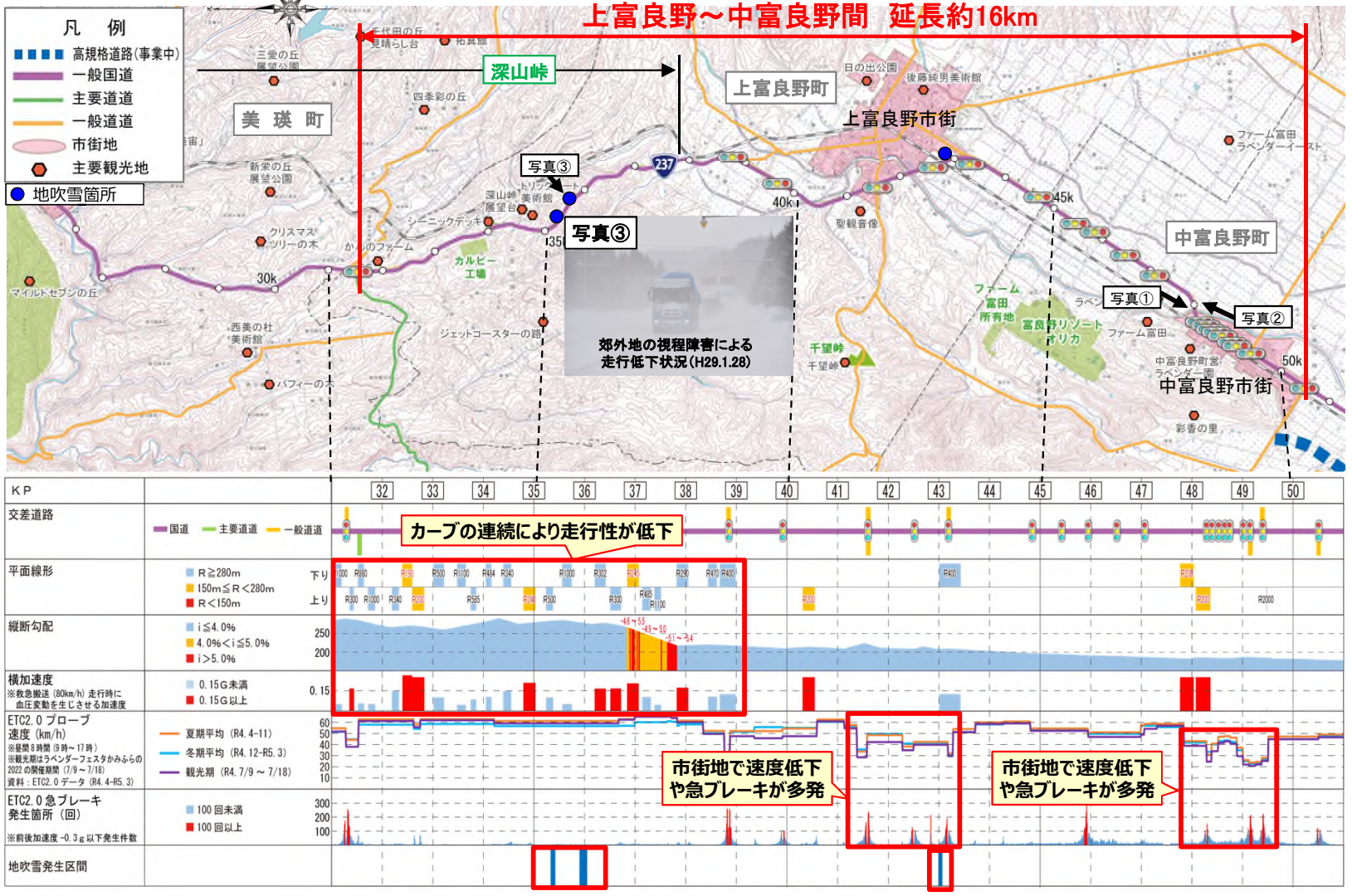
資料：平常時は令和3年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度上下平均値、観光期はETC2.0プローブデータ（ラベンダーフェスタかみふらの2022開催期間R4.7.9～18の昼間8時間（9時～17時）平均値）

資料：旭川開発建設部

4-2）道路の状況と課題（走行環境）

○上富良野市街、中富良野市街において、信号による速度低下や急ブレーキが多く発生。
○郊外地の峠部では、救急搬送時に血圧変動を生じさせる横加速度の大きいカーブが連続しており、救急搬送や応急処置に支障。
○冬期における地吹雪の発生により、救急搬送における速達性及び安定性、物流や周遊観光における速達性、定時性及び安定性が低下。

▼当該区間の走行環境





写真①

カーブ区間の救急車走行状況（R1.7.14）



写真②

渋滞に巻き込まれる救急車（H24.7.14）

資料：旭川開発建設部

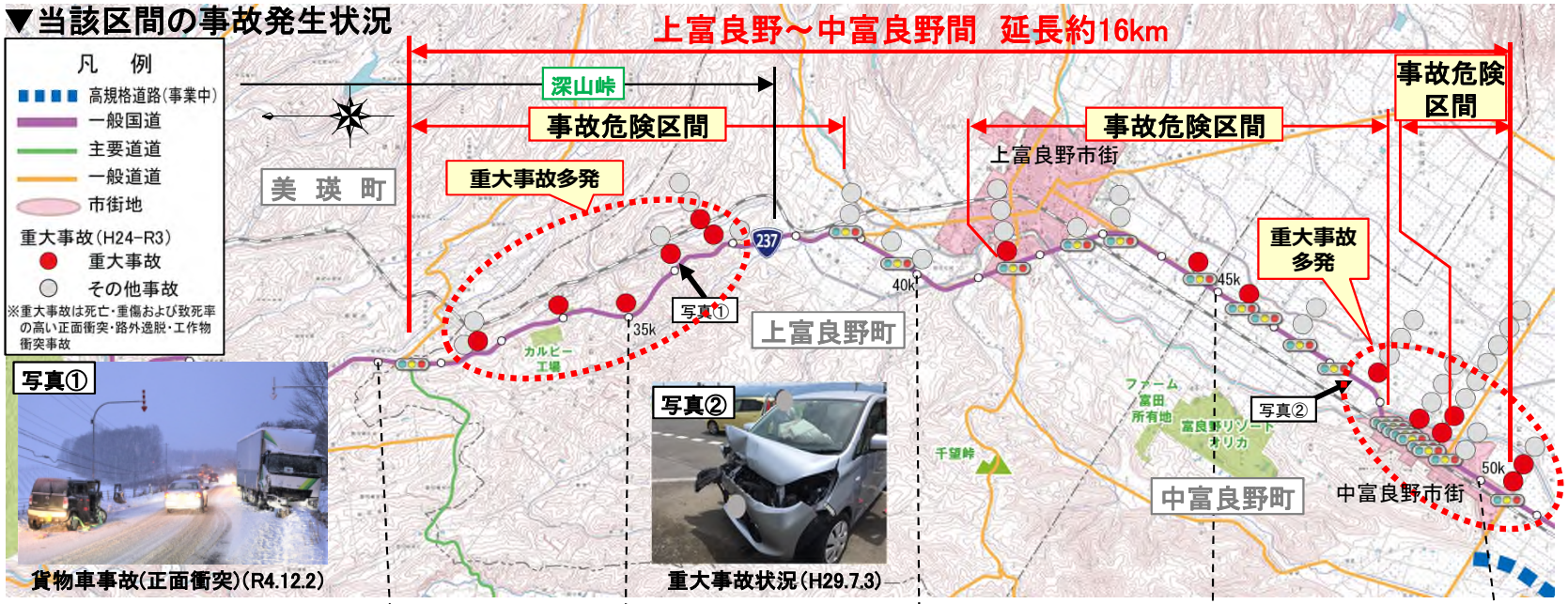
■地域の声（富良野広域連合消防本部）

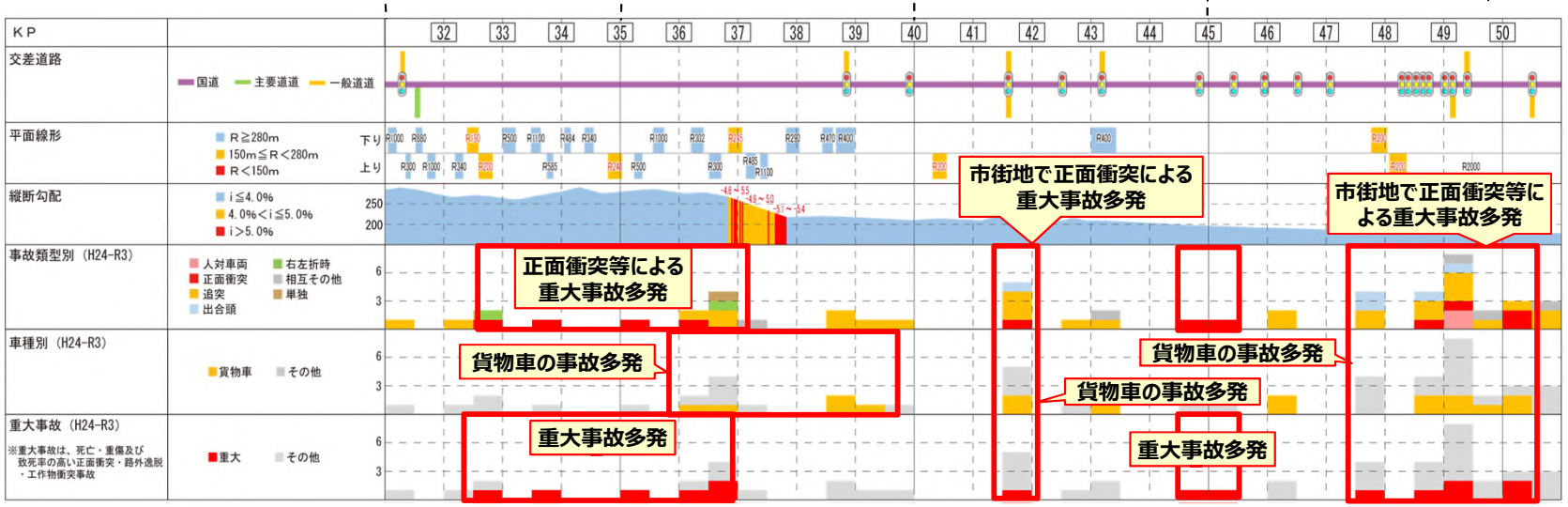
・**信号交差点による加減速や郊外地のカーブ区間の連続により**走行中の救急車に揺れが発生し、患者の体動により心電図解析や呼吸・脈の確認等において**スムーズな処置が難しい**など、**走行の安定性が課題**となっています。

4-3） 道路の状況と課題（安全）

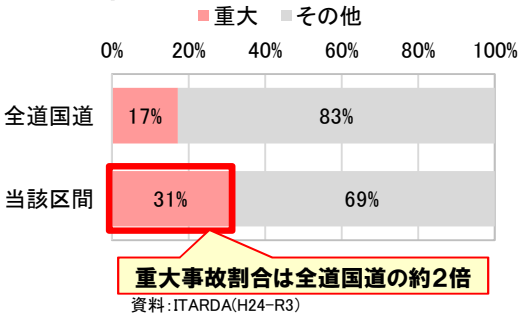
○上富良野～中富良野間は観光・物流の基幹ルートであるが、重大事故割合が全道国道の約2倍と高く、正面衝突事故が約7割。また、貨物車事故の割合も全道国道より高い。
○重大事故発生要因について、市街地の交差点では急停止した車両を避けるため対向車線へのはみ出しによる正面衝突事故、郊外地の峠部では無理な追い越しによる正面衝突事故が多く発生。

▼当該区間の事故発生状況



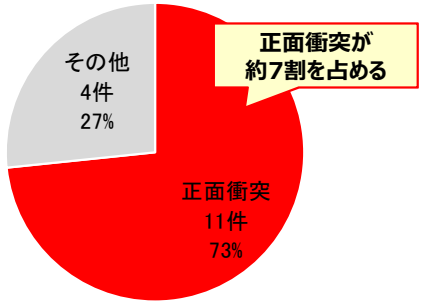


▼重大事故割合



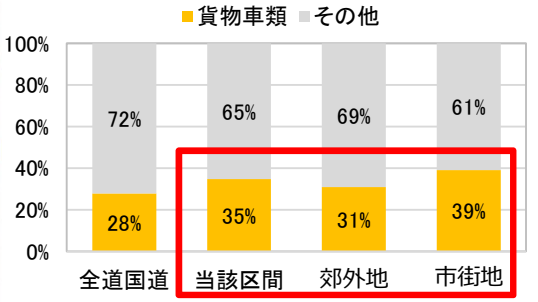
資料：ITARDA(H24-R3)
※重大事故は死亡・重傷および致死率の高い正面衝突・路外逸脱・工作物衝突事故

▼重大事故の事故類型別割合



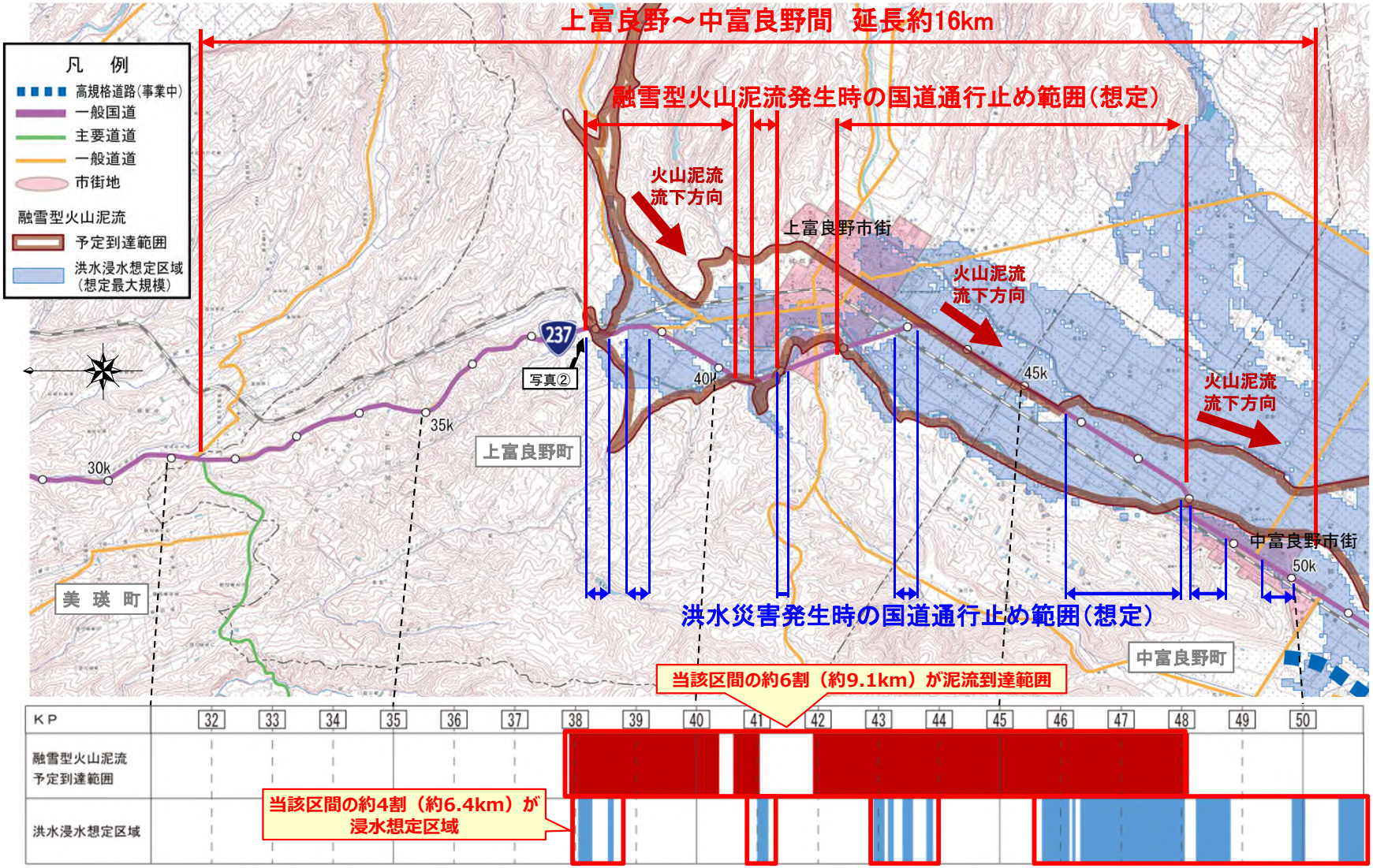
▼貨物車事故割合

資料：ITARDA(H24-R3)



4-4） 道路の状況と課題（災害）

○当該区間の一部は、十勝岳噴火時の「融雪型火山泥流予定到達範囲」となっているほか、洪水浸水想定区域も広範囲に存在しており、災害時における国道機能の確保が課題。



資料：泥流流下実績は1926十勝岳噴火報告書（内閣府）、融雪型火山泥流予定到達範囲（到達可能性範囲も含む）は上富良野町ハザードマップ、洪水浸水想定区域は北海道

写真②



1926年（大正15年）の泥流被害

【1926年（大正15年）噴火の詳細】

・噴火の規模はさほど大きくなかったが、積雪期であったため**高温の岩屑なだれが急速に残雪を溶かして泥流が発生**

・死者・行方不明144名、負傷者約200名

・推計戸数に対する**被災戸数割合は、上富良野町20.9%**、美瑛町4%、中富良野町5.6%

資料：内閣府「1926 十勝岳噴火報告書（H19.3）」



1988年（昭和63年）の噴火状況

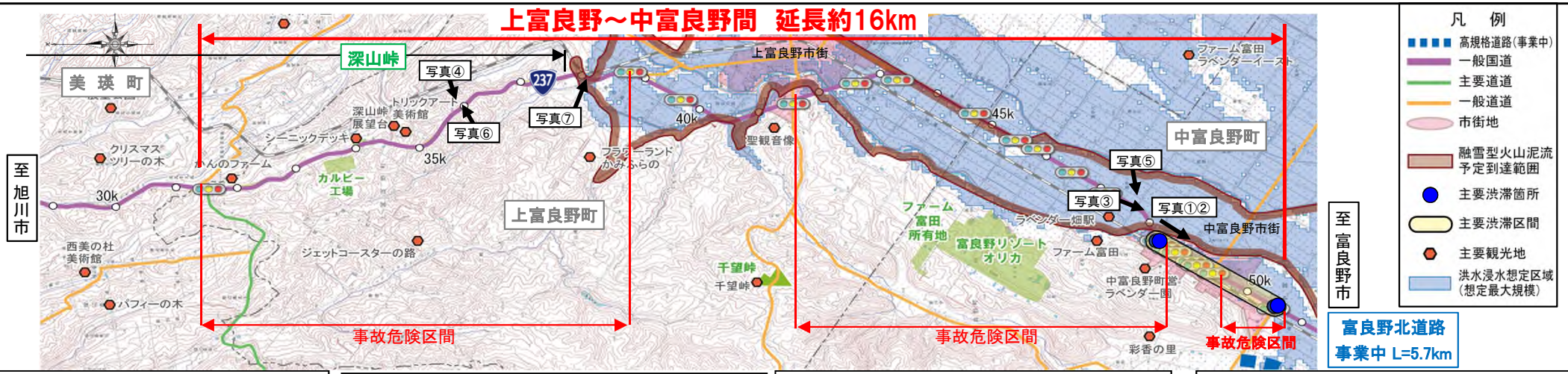
【1988年（昭和63年）噴火の詳細】

・小規模な**水蒸気噴火が繰り返し発生**し、居住地域に達する火砕流・火災サージや**融雪型火山泥流が発生する可能性が高まり、国道237号が最大で7日間(約136時間)の通行止め**。

資料：十勝岳火山防災協議会
「十勝岳火山避難計画(R4.5改定)」
通行止め実績:旭川開発建設部

4-5）国道237号上富良野～中富良野間の道路課題

○渋滞・混雑：市街地の信号交差点で速度低下が発生。また、花畑観光時期には、最大約2km超の渋滞が発生。
○走行環境　：市街地の信号連続による速度低下や急ブレーキ、郊外地のカーブの連続や冬期の地吹雪による視程障害により、速達性、定時性や安定性が低下。
○安　　全　：重大事故割合が全道国道の約2倍と高く、貨物車事故の割合も全道国道より高い。
○災　　害　：十勝岳噴火時の「融雪型火山泥流予想範囲」や「洪水浸水想定区域」が広範囲に存在。



渋滞・混雑

写真①



渋滞に巻き込まれる救急車（H24.7.14）

写真②



中富良野交差点の渋滞状況（R5.7.16）

・市街部の信号交差点で旅行速度が低下
・中富良野市街地で最大約2km超の渋滞が発生

走行環境

写真③



カーブ区間の救急車走行状況（R1.7.14）

写真④



視程障害による走行低下状況（H29.1.28）

・市街地の信号交差点による速度低下や急ブレーキ、郊外地のカーブ連続や冬期の地吹雪による視程障害により速達性、定時性や安定性が低下

安全

写真⑤



重大事故状況（H29.7.3）

写真⑥



郊外地での事故発生状況（R4.12.2）

・重大事故割合が全道国道の約2倍と高く、正面衝突事故が約7割。また、貨物車事故の割合も全道国道より高い。

災害

写真⑦



十勝岳噴火による被災（T15.5.24）



十勝岳噴火状況（S63. 9.16）

・十勝岳の噴火時の泥流で国道が被災
・洪水浸水想定範囲に国道が存在

５．課題の整理

5-1） 地域の課題と道路の課題

地域の課題	道路の課題	分類
○花畑観光時期（7～8月）には、国道237号中富良野交差点で最大2kmを超える渋滞が発生し、観光地間の移動に時間がかかることや、地吹雪による視程障害といった冬期の走りづらさなど、周遊観光における速達性、定時性及び安定性が課題。	○上富良野市街地や中富良野市街の信号交差点において、速度低下や急ブレーキが発生。 ○花畑観光時期には、中富良野市街地においては、旭川方面へ向かう車線で最大2kmを超える渋滞が発生しており、中富良野交差点の平均旅行速度は、夏期平均（4～11月）に比べ約20km／h低下。 ○冬期における地吹雪の発生により、救急搬送における速達性及び安定性、物流や周遊観光における速達性、定時性及び安定性が低下。	観光支援（人流）
○トマトやメロンの出荷ピーク時（7～8月）と、富良野･美瑛地区の花畑観光時期が重複するため、中富良野市街部の交通渋滞等の影響を受けやすく、輸送の定時性、速達性及び安定性の低下が課題。 ○市街地や郊外地において貨物車事故が発生しており、輸送の安全性が課題。	○冬期における地吹雪の発生により、救急搬送における速達性及び安定性、物流や周遊観光における速達性、定時性及び安定性が低下。 ○上富良野～中富良野間は観光・物流の基幹ルートであるが、重大事故割合が全道国道の約2倍と高く、正面衝突事故が約7割。また、貨物車事故の割合も全道国道より高い。 ○重大事故発生要因について、市街地の交差点では急停止した車両を避けるため対向車線へのはみ出しによる正面衝突事故、郊外地の峠部では無理な追い越しによる正面衝突事故が多く発生。	産業支援（物流）
○上川南部地域の医療を担っている第2次救急医療施設である富良野協会病院は、脳疾患及び心疾患については月2、3回の出張医による診療であるため、旭川市の第3次救急医療施設へ脳疾患、心疾患患者を含め年間260件程度が転院搬送されている。 ○搬送経路の国道237号は、花畑観光時期（7～8月）の交通渋滞、地吹雪による視程障害といった冬期の走りづらさなど、救急搬送における速達性及び安定性の低下が課題。	○花畑観光時期には、中富良野市街地においては、旭川方面へ向かう車線で最大2kmを超える渋滞が発生しており、中富良野交差点の平均旅行速度は、夏期平均（4～11月）に比べ平均20km／h低下。 ○郊外地の峠部では、救急搬送時に血圧変動を生じさせる横加速度の大きいカーブが連続しており、救急搬送や応急処置に支障。 ○冬期における地吹雪の発生により、救急搬送における速達性及び安定性、物流や周遊観光における速達性、定時性及び安定性が低下。	暮らし（医療）
○活火山である十勝岳は、約30年周期で噴火を繰り返している状況の中、前回の昭和63年の噴火から35年が経過しており、噴火の発生が切迫。 ○国道237号 上富良野から中富良野間の一部は「融雪型火山泥流予定到達範囲」となっており、災害時に通行止めとなることが想定されるため、救援・救助、復旧活動を支援するための道路機能の確保が必要。	○当該区間の一部は、十勝岳噴火時の「融雪型火山泥流予想範囲」となっているほか、洪水浸水想定区域が広範囲に存在しており、災害時における国道機能の確保が課題。	災害（防災）

⇒今後のアンケート･ヒアリング、自治体との調整等により、明確化を行う。

5-2） 地域の課題と道路の課題

地域・道路の状況から導かれる地域の課題			
観光支援（人流）	産業支援（物流）	暮らし（医療）	防災（災害）
○花畑観光時期（7～8月）には、国道237号中富良野交差点で最大2kmを超える渋滞が発生し、観光地間の移動に時間がかかることや、地吹雪による視程障害といった冬期の走りづらさなど、周遊観光における速達性、定時性及び安定性が課題。	○トマトやメロンの出荷ピーク時（7～8月）と、富良野・美瑛地区の花畑観光時期が重複するため、中富良野市街部の交通渋滞等の影響を受けやすく、輸送の定時性、速達性及び安定性の低下が課題。 ○市街地や郊外地において貨物車事故が発生しており、輸送の安全性が課題。	○上川南部地域の医療を担っている第2次救急医療施設である富良野協会病院は、脳疾患及び心疾患については月2、3回の出張医による診療であるため、旭川市の第3次救急医療施設へ脳疾患、心疾患患者を含め年間260件程度が転院搬送されている。 ○搬送経路の国道237号は、花畑観光時期（7～8月）の交通渋滞、地吹雪による視程障害といった冬期の走りづらさなど、救急搬送における速達性及び安定性の低下が課題。	○活火山である十勝岳は、約30年周期で噴火を繰り返している状況の中、前回の昭和63年の噴火から35年が経過しており、噴火の発生が切迫。 ○国道237号 上富良野から中富良野間の一部は「融雪型火山泥流予定到達範囲」となっており、災害時に通行止めが想定されるため、救援・救助、復旧活動を支援するための道路機能の確保が必要。



5-3） 地域の将来像

地域の将来像

観光

○[道北連携地域「地域づくり推進ビジョン]
- 地域資源を活かした通年・滞在地観光地づくりや広域観光の推進
- 空港を核とした観光客誘致の促進

○[道北連携地域政策展開方針]
- 広域周遊観光や体験・滞在型観光等の推進

○[第6次上富良野町総合計画(2019～2028)]
○[第6期なかふらのまちづくり総合計画(2021～2030)]
- 広域観光体制の充実

○[第6次上富良野町総合計画(2019～2028)]
○[第6期なかふらのまちづくり総合計画(2021～2030)]
- 良好な景観の保全、美しい景観の保全

産業・経済・物流

○[道北連携地域「地域づくり推進ビジョン]
- 農林水産業における生産基盤の強化と安定供給
- 広域交通ネットワークの形成(物流ネットワークの強化)

○[道北連携地域政策展開方針]
- 農商工連携による地場産品の高付加価値化や販路拡大

○[第6次上富良野町総合計画(2019～2028)]
- 都市・農村の交流と6次産業化の促進、地域ブランド開発への取り組み

○[第6期なかふらのまちづくり総合計画(2021～2030)]
- 食づくりの推進(6次産業化に伴う高付加価値化の推進)

医療

○[道北連携地域政策展開方針]
- 医療連携や救急医療体制の充実、自治体病院等の広域化と連携、高規格道路の整備

○[第6次上富良野町総合計画(2019～2028)]
- 常備消防・救急体制の充実強化

○[第6期なかふらのまちづくり総合計画(2021～2030)]
- 常備消防・救急救助体制の充実

安全・防災

○[道北連携地域「地域づくり推進ビジョン]
- 災害に強いインフラの整備と防災・減災体制の充実・強化

○[道北連携地域政策展開方針]
- 災害に対する防災体制の強化等、高規格道路の整備

○[第6次上富良野町総合計画(2019～2028)]
- 防災組織の充実・強化

○[第6期なかふらのまちづくり総合計画(2021～2030)]
- 防災・減災体制の強化等

（参考）地域の将来像（道北地域づくり推進ビジョン）

○「道北地域づくり推進ビジョン」は、新たな北海道総合計画および第8期北海道総合開発計画を踏まえ、平成29年7月に取りまとめられ、令和3年度の北海道総合開発計画の中間点検結果、北海道総合計画の改訂を踏まえ、見直された。
○道北地域づくり連携強化計画では、地域重点プロジェクトのうち、農水産業や観光、防災・減災、ネットワーク強化に関するプロジェクトの一環として、交通ネットワークの充実・強化や交通の安全性向上が示されている。

▼道北地域づくり推進ビジョンにおける地域の目指す姿

広大な土地や特色のある自然環境、多様な資源を活かした産業が展開し、心豊かで安心して暮らせる地域
■地域特性を活かした産業振興　■多様な魅力あふれる観光の振興　■離島地域の振興
■豊かな自然環境と調和した、安全・安心な地域づくり　■生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成

資料：R4.1　道北地域づくり推進ビジョン

▼道北地域づくり推進ビジョンにおける地域重点プロジェクト

項目	食	観光	環境・地域づくり・暮らし	離島	社会基盤
地域のめざす姿	地域特性を活かした産業振興	多様な魅力あふれる観光の振興	豊かな自然環境と調和した、安全安心な地域づくり	離島地域の振興	生活や産業を支える交通・情報ネットワークの形成
地域重点プロジェクト	○上川の農産物供給力向上プロジェクト ○留萌・宗谷の農業・水産供給力向上プロジェクト ○上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト ○上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト ○るもい地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト ○活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト ○ロシア極東との交流推進プロジェクト ○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト	○道北広域観光活性化プロジェクト ○魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト（再掲） ○ロシア極東との交流推進プロジェクト（再掲） ○天塩川ブランド力向上プロジェクト ○人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト	○豊かな自然環境保全プロジェクト ○安全・安心な地域づくり防災力向上プロジェクト ○安全・安心な地域づくりプロジェクト ○新エネルギー導入・活用推進プロジェクト ○天塩川ブランド力向上プロジェクト（再掲） ○人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト（再掲） ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト（再掲） ○人と自然が共生する地・宗谷創造プロジェクト	○道北広域観光活性化プロジェクト（再掲） ○留萌・宗谷の農業・水産供給力向上プロジェクト（再掲） ○魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト（再掲） ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト（再掲） ○るもい地域を支える多様な人材の育成・確保プロジェクト（再掲） ○活力ある宗谷の1次産業推進プロジェクト（再掲） ○安全・安心な地域づくりプロジェクト（再掲） ○新エネルギー導入・活用推進プロジェクト（再掲） ○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト（再掲）	○広域交通ネットワーク形成プロジェクト ○るもいの豊かな地域資源活用プロジェクト（再掲） ○地域の多様な人材が未来を創る「宗谷LIFE」プロジェクト（再掲）

上川の農作物供給力向上プロジェクト
○ 農産物の生産性向上
○ 農産物・食品輸送の効率化推進

留萌・宗谷の農業・水産供給力向上プロジェクト
○ 農産物の安定供給の推進　○ 水産物の品質向上
○ 物流ネットワークの充実

広域交通ネットワーク形成プロジェクト
○ 交通ネットワークの強化　○ 物流ネットワークの強化
○ 広域分散型社会に対応した地域交通の形成

道北広域観光活性化プロジェクト
○ 広域周遊型観光の促進
○ 観光資源の保護、育成
○ 観光振興に配慮した基盤整備
○ 住民と連携した観光振興

豊かな自然環境保全プロジェクト
○ 河川周辺の環境の保全
○ 北海道遺産である天塩川における環境整備の推進
○ 環境に配慮した整備の促進
○ 農業とサロベツ湿原の共生に向けた整備
○ 環境負荷の少ないエネルギー需給構造の実現

安全・安心な地域づくり防災力向上プロジェクト
○ 石狩川・留萌川及び天塩川の洪水に対する安全性向上
○ 地震、津波等に対する安全性向上
○ 土砂災害に対する安全性向上
○ 地吹雪対策などによる冬期交通の安全性等向上
○ 地域防災力向上の取組推進
○ 災害時の支援体制の充実

資料：R4.1　道北地域づくり推進ビジョン

（参考）地域の将来像（北海道および道北連携地域）

○北海道は、今後10年間（平成28年度～令和7年度）の基本的な方向を総合的に示す計画として策定していた、「北海道総合計画－輝きつづける北海道－」を令和3年12月に改訂。
○北海道総合計画の改訂等を踏まえ、北海道地域振興条例に基づく地域計画として、令和3年12月、新たな道北連携地域政策展開方針を策定。
○道北連携地域政策展開方針では、主な施策の展開方向として、農林水産業や食関連産業の振興、特色ある豊かな資源を活かした観光の展開、安心して暮らせる地域社会の形成のほか、それら暮らしや産業を支える交通ネットワークの形成が謳われている。

▼北海道総合計画が示す将来像（H28～R7）



将来像		将来の設定方向（現状・課題⇒方向性）	
①	地域全体で支える「子育て環境・最適地」	出生率の低下、未婚率や初婚年齢の上昇など	▶ 子供を生み育てる環境を整える
②	北国で心豊かに暮らせる安全・安心社会	超高齢社会、自然災害リスクの高まりなど	▶ 将来にわたる暮らしの安全・安心を確保する
③	豊かな自然と共生する「環境先進モデル・北海道」	豊かな自然環境、多様なエネルギー資源など	▶ 生物多様性の保全と持続可能な利用を図る多様なエネルギーの導入を拡大する
④	世界に広がる“憧れのくに”北海道ブランド	アジアの経済成長、国内消費の低迷など	▶ 海外の経済成長を取り込む
⑤	北海道の潜在力を活かす地域経済の循環	域際収支の赤字、地域産業の成長力強化など	▶ 資源・ひと・経済の好循環を確立する
⑥	北の大地を力強く切り拓く豊富な人材	地域産業の担い手不足、人材の育成など	▶ 人材を育成し、技術・技能を開発・継承する
⑦	北海道ならではの個性あふれる地域	過疎化の進行、行政サービスの確保など	▶ 持続可能な地域社会を形成する

資料：R3.10　北海道総合計画－輝きつづける北海道－

▼道北連携地域政策展開方針における地域の目指す姿と主な施策の方向性について（R3～R7）



■地域の目指す姿

広大な土地や特色ある自然環境、
多様な資源を活かした産業が展開し、
心豊かで安心して暮らせる「道北連携地域」

◇魅力ある地域資源を活かした「きた北海道」への来訪促進プロジェクト

・特色ある自然や歴史、芸術文化をテーマとした地域の魅力発信
・空港運営の一括民間委託を契機とした航空ネットワークの強化充実
（関連する主な基盤整備）
○高規格道路の整備

◇安全・安心な地域づくりプロジェクト

・全ての世代が安心して暮らせる環境づくり
・災害（地震、津波、大雨、火山等）に対する防災体制の強化等
（関連する主な基盤整備）
○高規格道路の整備

◇新エネルギー導入・活用推進プロジェクト

・地域が連携した新エネルギー導入促進の取組
・木質バイオマスの安定供給やエネルギー利用の推進

◇ロシア極東との交流推進プロジェクト

・サハリン州等との友好交流の推進
・ロシア極東との物流の活性化など経済交流の推進

◇天塩川ブランド力向上プロジェクト

・地域連携による絆の強化
・魅力創造・情報発信によるブランド力の強化
（関連する主な基盤整備）
○高規格道路の整備

◇上川の地域産業を支える担い手育成・確保プロジェクト

・農林業の担い手育成・確保に向けた取組の推進
・地域連携による人材確保等の取組の推進
・担い手確保に向けた移住の促進及び関係人口の創出・拡大

◇上川地域の強みを活かした農林業振興プロジェクト

・農業生産の低コスト・省力化と農畜産物の高付加価値化等の推進
・適切な森林づくりと森林認証材の利用拡大の推進
・農商工連携による地場産品の高付加価値化や販路拡大
（関連する主な基盤整備）
○高規格道路の整備

◇人と自然をつなぐ大雪山魅力発信プロジェクト

・魅力的な自然環境の保全・活用
・大雪山の恵みを活かした地域の魅力発信
（関連する主な基盤整備）
○高規格道路の整備

資料：R3.12　道北連携地域政策展開方針（北海道）

（参考） 地域の将来像（上富良野町、中富良野町のまちづくり）

〇上富良野町及び中富良野では、景観の保全、農林業等の産業振興、観光面での広域連携、防災体制の充実等の方針が示されている。
〇また、両町とも、高規格道路の整備促進に取り組む方針が示されている。

上富良野町のまちづくり基本目標

（１）きれいで安全・安心な生活環境のまち
（２）みんなが元気になる健康・福祉のまち
（３）活力と交流あふれる産業のまち
（４）未来を拓く人を育む教育・文化のまち
（５）発展を支える生活基盤が整ったまち
（６）ともに生き、ともにつくるまち

施策の概要

■環境・景観、エネルギー
・良好な景観の保全・整備　・「地質・地形サイト」の保全　等
■消防・防災
・常備消防・救急体制の充実強化　・防災組織の充実・強化　等
■農林業・商工業
・農業生産基盤の充実　・農業生産の省力化・高品質化等の促進
・畜産の振興　・都市・農村の交流と6次産業化の促進
・計画的な森林整備の促進　・地域ブランド開発への取り組み　等
■観光・交流
・観光・交流資源の充実　・広域観光体制の充実
・複合的な機能を備えた拠点の整備　等
■道路・公共交通
・国道237号の整備促進
・地域高規格道路　旭川十勝道路の整備促進　等

資料：第6次上富良野町総合計画（2019～2028）

中富良野町のまちづくり基本目標

（１）子育てしやすく健康で安心して暮らせるまち
（２）活力あふれる人材を育てるまち
（３）心豊かな人と文化を育むまち
（４）自然と共生する美しく安全なまち
（５）さらなる発展への生活環境をつくるまち
（６）みんながつながるまち

施策の概要

■農林業・商工業
・食づくりの推進（6次産業化に伴う高付加価値化の推進等）
・生産を強化するシステムづくりの推進　・計画的な森林整備等の推進
・新規企業の立地促進（遊休施設のテレワーク拠点としての活用等）等
■観光・交流
・観光資源等の充実及びPR活動等の推進
・通年型の体験観光の充実(グリーン・エコツーリズム等の取り組み)
・広域観光体制の充実　・観光等の交流拠点づくり　等
■景観
・美しい景観の保全　等
■消防・救急・防災
・常備消防・救急救助体制の充実　・防災・減災体制の強化　等
■道路
・地域高規格道路・国道・道道の整備促進　等

資料：第6期なかふらのまちづくり総合計画（2021～2030）

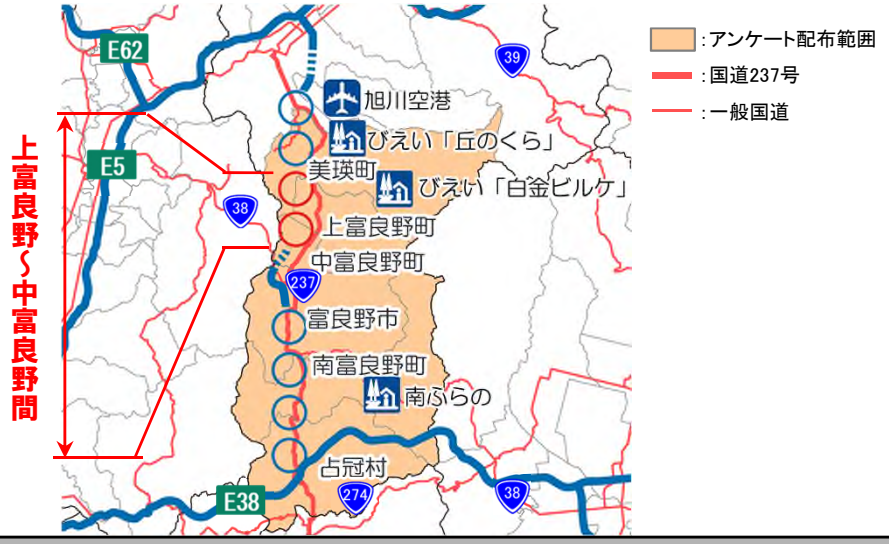
６．意見聴取方法

6-1）意見聴取方法

■意見聴取の基本方針

○「地域の改善すべき課題」、「旭川十勝道路の調査中区間及び並行する国道237号の課題」に対し意見を伺う。

■アンケート配布範囲



■意見聴取の方法と対象者

対象者・実施方法				
アンケート	【地域住民及び道路利用者】			
	地域住民	上富良野町(全戸：5,262戸)、中富良野町(全戸：2,178戸)、富良野市(全戸：10,513戸)、美瑛町（全戸：4,804戸）、南富良野町（全戸約1,336戸）、占冠村（全戸約938戸）	郵送配布調査（25,031戸）
	道路利用者	６自治体の役場、道の駅３箇所（びえい「丘のくら」、びえい「白金ビルケ」、南ふらの）	常設の留置きアンケート調査（計９箇所）
		広域的な利用者	Webアンケート調査（日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語）
	観光客	観光施設等（旭川空港、道の駅、フラノマルシェ、なかふらの北星山ラベンダー園）	インタビュー形式でのアンケート調査（日本語・英語・中国語（繁体字・簡体字）・韓国語）
ヒアリング	【自治体及び団体代表者】			
	沿線自治体等	上川総合振興局、上富良野町、中富良野町、富良野市、美瑛町、南富良野町、占冠村	インタビュー形式でのヒアリング（７沿線自治体等 39関係団体）
	関係団体	商工会議所（２箇所）、商工会（女性部を含む９箇所）、農業協同組合（女性部を含む４箇所）、北海道トラック協会、旭川地区トラック協会、北海道バス協会、バス事業者(2社)、レンタカー事業者(5社)、観光協会（７箇所）、北海道観光振興機構、空港、消防（２箇所）、病院（２箇所）、陸上自衛隊	

6-2） 意見聴取方法

■ヒアリングの調査項目と活用方針

ヒアリングの調査項目	ヒアリング結果の活用	備考
自治体や関係団体への意見聴取	・地域や道路の課題に関し、自治体や関係団体への意見聴取を行い、政策目標の設定に反映する。 ・自治体や関係団体との認識の整合性の確認をする。	共通

■アンケートの調査項目と活用方針

アンケートの調査項目	アンケート結果の活用	備考
地域の課題	将来を見据えた改善すべき地域の課題について、回答者の考えを把握する。	第1回
道路の課題（必要な機能）	高規格道路の調査中区間（上富良野～中富良野）及び並行する国道237号の現状について、回答者の考える課題を把握する。	
その他自由意見	その他、道路に関する課題や意見を幅広く聴取する。	
比較ルート帯（複数案）に対する意見	ルート帯、インターチェンジ選定にあたり、地域住民等が重視する視点、配慮すべき事項を把握する。	今後
その他自由意見	その他、各区間に関する意見を幅広く聴取し、計画策定に反映する。	
回答者の属性、利用状況	回答結果の差異に対して各分野で整理し、分析する。	共通

※黄色着色は、第1回地域意見聴取で実施する内容を示す

6-3） 第1回アンケート調査（案）

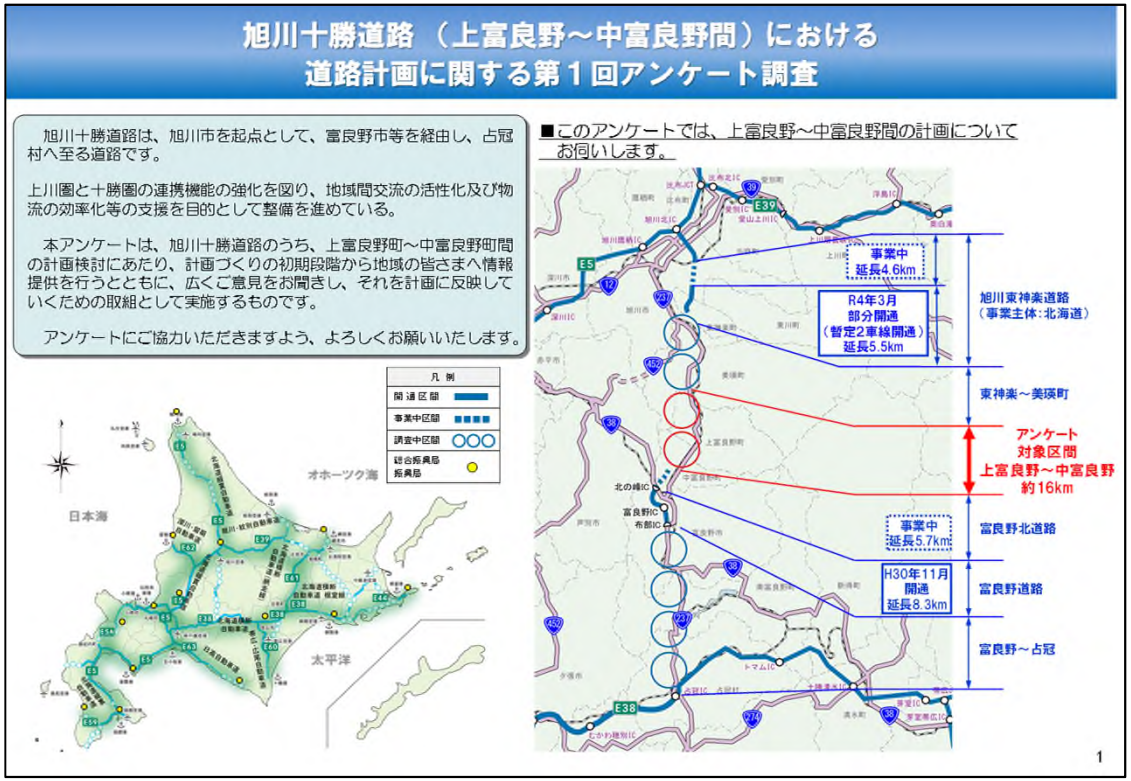
■第1回アンケートにおける調査方法および質問内容

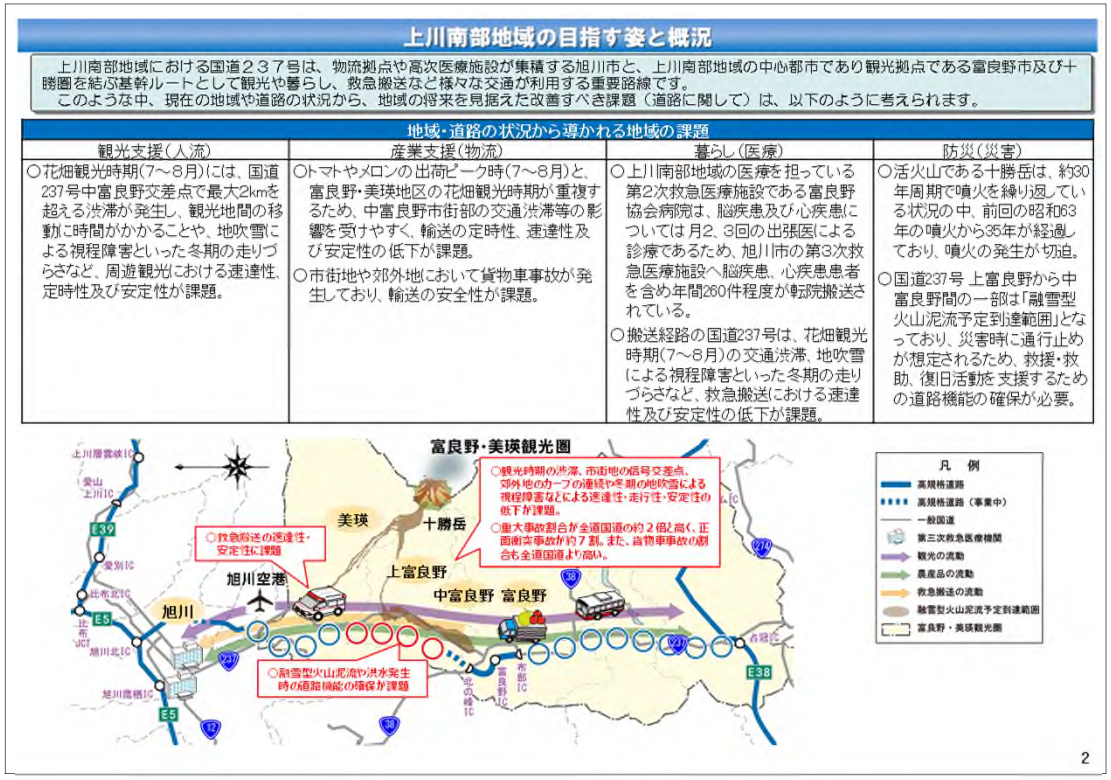
①調査概要

・本調査の趣旨・調査対象箇所について説明

②上川南部地域の概況

・地域の概況と課題について説明





6-4）第1回アンケート調査（案）

■第1回アンケートにおける調査方法および質問内容

③将来を見据えた改善すべき課題

- 将来を見据えた改善すべき地域の課題の提示
- 対象路線の道路課題の提示





6-4）第1回アンケート調査（案）

■質問内容・回答欄

質問１　上川南部地域の将来を見据えた地域の課題についてどう思いますか？

1-1　次のA～Dについて、「そう思う」～「そう思わない」の５段階で評価してください。
また、各項目の中で特に優先するべき項目一つに✓をつけてください。

項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	優先項目
A　【観光】観光時期の渋滞や地吹雪発生時の視界不良により、地域住民や観光客が目的地に早く確実に移動することができない	1	2	3	4	5	
B　【物流】農産物輸送時に渋滞に巻き込まれ、市場等に早く確実に輸送することができない。また、峠部のカーブやアップダウンでは事故の危険性がある	1	2	3	4	5	
C　【医療】観光時期の渋滞や地吹雪発生時の視界不良により、早く確実に病院に搬送できず、患者への負担が大きい	1	2	3	4	5	
D　【災害】十勝岳噴火や洪水の災害発生時に国道が通行できなくなり、救援・救助、復旧活動に支障が生じる	1	2	3	4	5	

回答は返信はがきに記入願います
※インターネットでも回答出来ます

1-2　上記A～D以外で、あなたが課題だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

回答は返信はがきに記入願います

質問２　国道２３７号　上富良野～中富良野間に必要な道路機能はどのような道路だと思いますか？

2-1　次のA～Dについて、「そう思う」～「そう思わない」の５段階で評価してください。
また、各項目の中で特に優先するべき項目一つに✓をつけてください。

項　目	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	優先項目
A　【観光】観光時期や冬期においても、地域住民や観光客が目的地に早く確実に移動することができる道路	1	2	3	4	5	
B　【物流】観光時期や冬期においても、市場等へ早く確実に農産物を輸送できる道路	1	2	3	4	5	
C　【医療】観光時期や冬期においても、早く確実に病院に搬送ができる道路	1	2	3	4	5	
D　【災害】十勝岳噴火や洪水等の大規模災害時でも通行することができる道路	1	2	3	4	5	

回答は返信はがきに記入願います
※インターネットでも回答出来ます

2-2　上記A～D以外で、あなたが必要だと思うことがあれば、ご自由にお書きください。

回答は返信はがきに記入願います

質問３　その他、国道２３７号　上富良野～中富良野間について、ご意見やご要望がありましたらご自由にお書きください。

回答は返信はがきに記入願います

6-4）第1回アンケート調査（案）

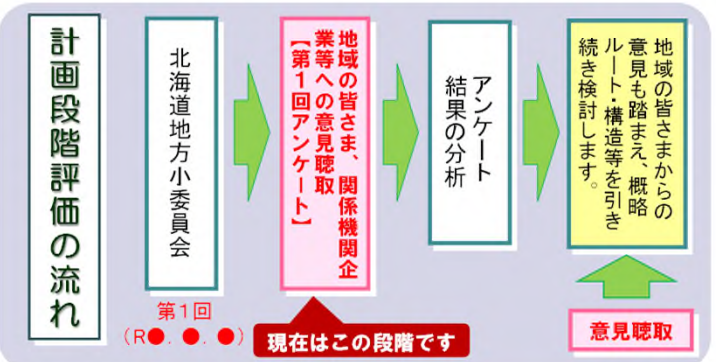
アンケートの回答方法、実施期間

・回答は同封の郵便はがきにご記入ください。
・回答用の郵便はがきは、切手を貼らずに最寄りの郵便ポストへ投函して下さい。
　なお投函は、令和●年●月●●日（●）までにお願いします。
・インターネットによる回答も実施可能になっておりますので、下記アドレスからアクセス願います。
　※はがきによる回答は２名までとなっております。ご家族の中でご回答者様の他にお車を運転される方がいらっしゃる場合は、インターネットにてご回答いただけますと幸いです。
　旭川十勝道路（上富良野～中富良野間）道路計画に関する意見聴取　Ｗｅｂ回答用ページ
　URL：○○○○
　※旭川開発建設部ホームページからもアクセス可能です。

QR コード

■アンケートは「計画段階評価」審議の参考意見となります。

国土交通省では、道路事業の透明性・効率性を高めるため、計画段階評価の取組を導入しています。
これは、道路の整備方針を地域の声（地域の皆様、道路利用者、関係団体等）を聞きながら、第三者委員会によって審議するものです。



アンケートの記入例

郵便はがき

料金受取人払

旭川局承認

●●

差出有効期間
令和●年●月
●●日まで
（切手不要）

0 7 8 - 8 5 1 3

北海道　旭川市　宮前１条３丁目３番１５号
旭川開発建設部　道路計画課

旭川十勝道路（上富良野～中富良野間）
道路計画に関する意見聴取係　行

はがきでは、ご家族2名まで御回答頂けます。
2名で回答頂く場合は、表中の①②行にそれぞれ回答を記載ください。

■あなた自身のことについて（記入または該当する番号に○）		
住所　〒000-0000　北海道 空知 市・郡 上富良野 町 村		
性別と年齢	①	男性・女性　（年齢：　40　歳代）
	②	男性・女性　（年齢：　40　歳代）
■自動車を運転する頻度を教えてください（該当する番号1つに○）		
1. 毎日　2. 週数回　3. 月数回	①	1, 2, 3, 4, 5
4. ほとんど運転しない　5. 運転しない	②	1, 2, 3, 4, 5
■国道237号上富良野～中富良野間の利用頻度を教えてください（該当する1つに○）		
1. 毎日　2. 週数回　3. 月数回	①	1, 2, 3, 4, 5
4. あまり利用しない　5. 利用したことがない	②	1, 2, 3, 4, 5
■国道237号上富良野～中富良野間の主な利用目的を教えてください（該当する全てに○）		
1. 通勤・通学　2. 通院　3. 家事・買い物	①	1, 2, 3, 4, 5
4. 仕事（営業，運送等）　5. 観光・レジャー		6（　　）
6. その他※	②	1, 2, 3, 4, 5
※6. その他の場合は、括弧内に内容を記載ください		6（　　）

旭川十勝道路（上富良野～中富良野間）第1回アンケート 回答欄
2名で回答頂く場合は、表中の①②行にそれぞれ回答を記載ください。

質問1．上川中南部地域の将来を見据えた地域課題について
1-1　以下のA～Dの項目について、該当するもの1つに○をつけてください。
　　また、各項目の中で特に優先するべきもの1つに✓をつけてください。

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	優先項目
A【観光】渋滞や吹雪で計画的に移動できない	①	1	2	3	4	5	
	②	1	2	3	4	5	
B【物流】渋滞や事故で農産物の輸送が不安定	①	1	2	3	4	5	✓
	②	1	2	3	4	5	
C【医療】渋滞や吹雪で救急搬送が不安定	①	1	2	3	4	5	
	②	1	2	3	4	5	✓
D【災害】十勝岳噴火や洪水による国道の通行止	①	1	2	3	4	5	
	②	1	2	3	4	5	

1-2　上記以外で課題だと思うことがあれば、ご自由にお書きください
①・・・・・・・・・・・・・・・・
※記載者が分かるようにするため、文章前に回答者の番号を記載頂くようお願い致します。

質問2．上富良野～中富良野間に必要な道路機能について
2-1　以下のA～Dの項目について、該当するもの1つに○をつけてください
　　また、各項目の中で特に優先するべきもの1つに✓をつけてください

		そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	優先項目
A【観光】観光時期や冬期でも計画通りに移動可能な道路	①	1	2	3	4	5	✓
	②	1	2	3	4	5	
B【物流】輸送時間の短縮と安全性の高い道路	①	1	2	3	4	5	
	②	1	2	3	4	5	
C【医療】救急搬送時間の短縮と安定性の高い道路	①	1	2	3	4	5	
	②	1	2	3	4	5	
D【災害】災害時にも通行可能な道路	①	1	2	3	4	5	
	②	1	2	3	4	5	✓

2-2　上記以外で必要だと思うことがあれば、ご自由にお書きください
①・・・・・・・・・・・・・・・・
②・・・・・・・・・・・・・・・・
※記載者が分かるようにするため、文章前に回答者の番号を記載頂くようお願い致します。

質問3．その他のご意見
国道237号上富良野～中富良野間のご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書き下さい。
②・・・・・・・・・・・・・・・・
※記載者が分かるようにするため、文章前に回答者の番号を記載頂くようお願い致します。

アンケートについてのお問い合わせ先

＜調査主体＞
北海道開発局　旭川開発建設部　道路計画課
旭川十勝道路（上富良野～中富良野間）
道路計画に関する意見聴取係

〒078-8513　旭川市宮前1条3丁目3番15号
電話0166-32-4279

国土交通省

安全で快適な地域づくりのために
みなさまのご意見をお待ちしております。



本調査は、上川南部地域の道路計画について地域にお住まいの皆さまや道路利用者のご意見を広くお聞きすることを目的とするものです。
そのため、回答用の郵便はがきに記入されたことは、この目的以外には使用いたしません。
回答いただいた個人に関する情報は、本人の同意なく第三者に開示・提供することはありません。（法令により開示を求められた場合を除きます）